



GIFU UNIVERSITY

国立大学法人東海国立大学機構

岐阜大学

岐阜大学概要 2024



学長挨拶

President's Message

岐阜大学は2020年4月に名古屋大学と我が国で最初に総合大学同士の法人統合を果たし、東海国立大学機構として多くの実績を上げつつあります。我が国の地域の中核大学の新たな在り方としての良いモデルとなるべく進化しているところです。

東海国立大学機構が掲げる「Make New Standards for the Public」というミッションを共有し、その上で「学び、究め、貢献する」という本学の理念のもと、ビジョンを「地域共創、特色ある研究、イノベーション、教育を戦略的に推進し、地域と人類の課題解決に貢献する『地域活性化の中核拠点』となる」と定め、世界を見据えた上で、ビジョンを実現するための戦略を策定いたしました。本学の強みである、「産業・まちづくり」、「ものづくり」、「食づくり」、「医療づくり」、「人づくり」の分野でステークホルダーとの共創のもと、地域社会への教育・研究・社会貢献などから生まれる成果が地域を変えていくこの好循環を、「ぎふのミ・ラ・イ・エ構想」(Migration, Laboratory, Innovation, Education)と名づけ、岐阜大学の価値創造のモデルとして位置づけました。

これらを実現するための施策としては、第1に両大学の強みを結集した、東海国立大学機構連携拠点支援事業の充実です。これは岐阜大学および名古屋大学がそれぞれ持つ強み、リソースなどを融合し、そのシナジー効果が期待できる先進的かつ挑戦的な取り組みで、現在6つの拠点が認定されています。

の中でも特筆すべき事柄としては、「東海国立大学機構・糖鎖生命コア研究拠点」の発展をあげることができます。糖鎖分野における世界トップレベルの研究拠点として、国家プロジェクトである大規模学術フロンティア促進事業「ヒューマンゲノムプロジェクト」を担当し、2023年5月には糖鎖生命コア研究所岐阜研究棟が竣工いたしました。岐阜大学の誇りであります。また、「航空宇宙研究教育拠点」も多くの実績をあげ、岐阜県との連携のもと、航空宇宙産業を中心としたさまざまなものづくり企業に貢献できるサイバー・フィジカル・ファクトリーを実現するための研究開発を進めており、新たに展開枠の支援を受けるに至りました。「One Medicine創薬シーズ開発・育成研究教育拠点」は医学・獣医学・薬学による先進医療と創薬に、応用生物科学部・工学部による食・農・バイオエンジニアリングを加えた革新的なライフサイエンス拠点です。2023年1月にはOne Medicineトランスレーショナルリサーチセンター(COMIT)を立ち上げ、文部科学省の経営改革補助金による支援を受け、研究基盤の整備と地域一体型の臨床研究体制を整えています。一方、「健康医療ライフデザイン統合研究教育拠点」、「低温プラズマ総合科学研究拠点」に加えて、「量子フロンティア産業創出拠点」が認定されました。地域の中核大学の産学融合拠点の整備として、Tokai Open Innovation Complex岐阜サイト(TOIC棟)が2023年12月に竣工し、研究力の強化や産学連携の推進に弾みをつけています。カーボンニュートラルおよび気候・環境変動・環境対策もSDGs実現のために重要な課題です。社会課題を科学技術・イノベーションの発展で経済成長のエンジンへと押し上げていきます。

岐阜大学長 吉田 和弘



第二に強調したい点は、教育面での改革です。名古屋大学との連携で、全学教育科目的共同授業の実施、特に英語教育や数理データサイエンス・AI教育などの単位互換性授業が可能となりました。大学院博士課程学生への支援強化も充実いたしました。アカデミックセントラルの教育学修環境整備をさらに推進することにより、キャンパスDXを推進するデジタルユーバーシティ構想の実現も楽しみです。

2022年に文部科学省に採択された「ぎふ地域創発人材育成プログラム～地域活性化を目指した知的基盤の構築～」(SPARC事業)は、国立、公立、私立の大学が連携法人をつくって共通の教育プログラムをつくるとともに、地域の産官学との連携を高め、地域に密着した学びを深めることと、地域を活性化する仕組みづくりを進めており、地域創生に貢献しています。

第三に挙げられる発展は、国際展開力です。地域における中核大学を目指すからこそ国際連携・国際交流を推進しなければならないと考えています。「世界で通用する人材こそ地域で活躍できる人材」であります。岐阜大学はすでに大学間では49大学、部局間では60大学と協定を締結していますが、今後はさらに増やしていきたいと考えています。また、国際化と教育研究力のさらなる向上を図るために、協定校のインド工科大学グワハティ校(IITG)およびマレーシア国民大学(UKM)と、ジョイント・ディグリープログラム(JDP)として4つの国際連携専攻を開設しています。今後は、ヨーロッパ、東南アジアの協定校とJDPの開設を検討するとともに、产学研連携して地域まるごと国際交流を推進するプロジェクトも展開していきます。

自治体との連携もこれまで以上に進めていますが、地域共創に貢献するためにも大学発のスタートアップ支援には一段と力を入れていきます。

岐阜大学は新しいビジョンや戦略を通じて、学生・教員・職員・ステークホルダーの皆様と共に、「地域と世界に開かれ、愛される岐阜大学」を実現し、社会変革の駆動力として成長し続ける経営体」に向けた変革と「持続可能な地域中核大学」としての発展を目指します。



Contents

学長挨拶	01
岐阜大学の理念と目標	02
岐阜大学憲章	03
岐阜大学の教育における3つの方針	04
環境への取り組み	05
大学組織	06
教育研究組織	07

教育 学ぶ岐阜大学

教育推進・学生支援機構	13
学生数	14
入学状況	16
学部卒業者数・進路状況	17
国家試験合格状況・教員採用状況	18
大学院修了者数・進路状況	19
学生支援施設	21
学生サークル活動	22

研究 究める岐阜大学

学術研究・产学官連携推進本部	23
連携拠点支援事業	24
特色ある研究の取り組み	26
科学研究費助成事業	28
岐阜大学発ベンチャー起業数の推移	28
共同研究・受託研究	29
発明届・ライセンス等収入	29

社会連携 貢献する岐阜大学

地域連携	30
公開講座・シンポジウム・フォーラム	31
市民大学講座	31
高大連携	31

国際交流

グローバル推進機構	32
留学生受入・派遣状況	33
学術交流協定締結大学等一覧	35
研究者受入・派遣状況	37
国際交流会館	37
海外オフィス	37

組織

学長・副学長等一覧	38
構成員数	40
予 算	41
寄附金	41
沿 革	42
歴代学長	43

キャンパス

建物配置図	44
土地・建物	46
所在地・交通案内	48

学び、 究め、 貢献する

〔学章〕



デザイン 元岐阜大学教授 坂井範一

- 岐阜大学の学章は鵜舟と篝火を意味する。
篝火は学問を、舟は人類の幸福を意味するであろう。
- 陰陽二体の組み合わせは天地自然を意味する。
総ての存在と活動、調和とバランスを意味するであろう。
- 黒とオレンジ色の組み合わせは情熱を意味する。
また感性の豊かさと品位を意味するであろう。
- 単純化された形は現代の清潔感と活動性を意味する。
それはまた時代の速度と知性を意味するであろう。

〔シンボルマーク〕



デザイン 宮川ヒロミ氏

創立60周年を迎えた2009年、デザインを広く公募し決定した。岐阜の地での豊かな教育研究活動が、日本全体、世界へと発信されていくこと、そして岐阜大学学生が自らの将来に矢のようにまっすぐすむことを祈念してデザインされている。また、学章が力強い弓と融合し、岐阜大学の頭文字「G」を形作っている。

〔理念〕

清流の国と称され豊かな自然に恵まれた岐阜の地では、東西文化が接触する地理的条件や歴史を背景に多様な文化が育まれるなか、新たな技術・技能が創造され、脈々と伝承されてきた。国立大学法人東海国立大学機構・岐阜大学は、このような岐阜の地の特性を継承するとともに、洗練された「人が育つ場」の中で、社会を牽引し、未来を創造しうる「学び、究め、貢献する」人材の輩出を使命とする。

また、岐阜大学は、全ての学部・研究科が1つのキャンパスにある特徴と、同一法人を構成する名古屋大学との連携を教育・研究の両面に活かし、特に、高度な専門職業人の養成に主眼を置いた教育、教育の基盤としての質の高い研究、地域に根ざした国際化を展開する。さらに、これらの成果を地域還元することにより、「地域活性化の中核拠点」を目指す。

〔目標〕

1. 教育

社会を牽引し、未来を創造するため、豊かな教養と「自ら学ぶ」姿勢を涵養し、高い倫理観とともに課題を探求し解決しうる能力をもった高度な専門職業人を養成する。このため、教育の質保証システムの充実、対面・遠隔授業のベストミックスや学修成果の可視化など教育学修環境の整備を推進する。

2. 研究

個々の研究者の知的探求心に基づく学術研究の卓越性を幅広い分野において高めることにより、被引用度の高いジャーナル論文の増加を目指すとともに、特定の研究分野において、世界トップレベルの研究成果を得ることが期待できる研究センター群を形成し、人類や地域社会の直面する諸課題を解決する。

3. 國際化

ジョイント・ディグリープログラム（JDP）はじめ地域に根ざした国際化を念頭に行う教育研究活動により、グローバル化を実現する。そのために、東海国立大学機構が持つ多様な人材やネットワークを活用し、組織的な支援体制やICTを活用した双方向の交流などを強化することで国際化を推進する。

4. 社会貢献

東海地域の大学、大学共同利用機関、自治体、地元企業等との連携・協働をさらに深め、地域課題の解決をはじめ、教育、行政サービス等の向上による地域のブランド力の増進や産業の競争力向上に資する教育研究活動を推進するとともに、大学発ベンチャーの創出や产学協働拠点の形成を通じて、研究成果の社会実装による新たな価値を創造する。

5. 地域医療連携

岐阜県における唯一の医学部附属病院として、地域医療を支え、住民の健康に寄与する役割を担う。特に、最先端の医療の提供、統合医療情報プラットフォームの構築、国際的に活躍する医療人材の育成などを通じて地域医療を先導し、社会に貢献する。

学生憲章：「岐阜大学は学生に何を期待しているか」

学生の皆さん。岐阜大学で学ぶ数年間は、皆さん的人生において最も輝いている、それ故に最も大事な時間なのです。岐阜大学における学生生活は、将来の生き方を決める上でとても重要です。自ら進んで学問の基礎と高度な専門知識を学ぶと同時に、人間、自然、社会に対する豊かな感性と洞察力を磨いてください。大学の教職員は皆さんの期待に添うよう最善を尽します。皆さんも努力してください。

- 本をたくさん読み、学んでいく上での土壤を作ろう。
- 文学と芸術を愛し、人間と自然への理解を深めよう。
- 専門職業人として、高度な専門知識を身につけよう。
- 自分の考えを論理的な文章にまとめ、発表できるようにしよう。
- 国際語である英語をマスターし、十分に意思疎通できる実力をつけよう。
- ICTの活用により、正しい情報の受信と発信ができるようにしよう。
- 長い人生を生きるために体力をつけ、健康を守ろう。

教員憲章：「岐阜大学の教員は何をすべきか」

岐阜大学は、「教育に軸足を置いた教育・研究大学」を理念としている。学生憲章にしたがい学生を教育し、優れた人材を社会に送り出すことが大学に課せられた最大の使命である。質の高い教育には、学問に対する情熱と質の高い研究の裏付けを必要とする。教員は独創的研究を進め、世界トップレベルの研究を目指す。教員は、教育者、研究者としての高度な倫理観が求められていることを常に意識しなければならない。日常生活、教育研究に取り組む姿、それらのすべてが学生に対する教育である。

- 教育に軸足を置いた教育・研究大学として、学生憲章に示す教育を実践する。
- 広い視野、深い専門知識、総合的な判断力と行動力をもった人材を育成する。
- 教育者、研究者としての倫理を常に自覚し、行動する。
- 目標を高くもち、世界トップレベルの研究を目指す。
- 長期的視点と広い視野で、独創的な研究を進める。
- それぞれの専門分野を通して、社会貢献に努める。

社会貢献憲章：「岐阜大学はどのように社会の要請と期待に応えるか」

法人化以前の大学は、「象牙の塔」という言葉に象徴されるように、社会から切り離された一段と高い存在のように思われていた。しかし、法人化後、大学はあらゆる面で社会から期待される存在になった。これを受けて、大学は積極的に社会に貢献しようと努めている。岐阜大学は、中部地域に立脚した国立の地方総合大学として、教育、研究、産業、医療、文化など、広く地域社会の要請と期待に応えられるよう努めなければならない。国際的にも、教育、研究面で貢献することが求められている。

- 優れた人材の育成が、大学に期待されている最大の社会貢献である。
- 地方総合大学の重要な役割は、地域社会との連携、協働である。
- 産官学間の連携により、地域産業の振興に貢献する。
- 地域住民、行政機関との協力により、地域の行政、経済、教育、文化の発展に貢献する。
- 附属病院は高度先進医療センターとして地域の医療に貢献する。
- 先進国、途上国と協力して国際的な社会問題の解決に貢献する。
- 海外の大学との連携および留学生教育を通して、国際社会に貢献する。

大学運営憲章：「期待に応える大学であるために何をすべきか」

教育、研究、社会貢献など大学に対する社会からの期待は大きい。中期目標、中期計画を策定し、それを確実に実行することが、社会の期待に応えるための基本となる。大学という、普通の社会一般の組織とは少からず異なる独自の組織形態と価値観をもつ組織を、本来の目的に向かって進めるためには、学長のリーダーシップのもとに、教職員が問題意識を共有し、大学運営に当たることが重要である。特に、戦略性を重視し、個性ある大学像を築くことが必須条件である。国立大学法人をめぐる厳しい財政状況下で、大学の活性を保ち、本来の任務である教育、研究、社会貢献を進めるためには、経営と管理運営に戦略性が必要である。

- 中期目標、中期計画を確実に実行する。
- 戦略性を重視し、明確な方針と学長のリーダーシップのもとに大学運営にあたる。
- 環境に配慮した運営を行い、教育、研究、社会貢献に反映させる。
- 厳しい財政状況を乗り越えるため、明確な経営戦略のもとに運営する。
- 外部資金の獲得に努め、財政基盤を強化する。
- 情報の透明性と公開性を重視するとともに、情報を適正に取り扱い、効率的かつ合理的な運営に活かす。
- 教職員に優れた人材を採用し、その育成に努める。
- 学生の教学データ、教員の教育研究活動実績等は大学の財産であり、教育の質向上、研究の推進等に活用する。

■ 岐阜大学の教育における3つの方針（学部）

卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー) <p>岐阜大学は、全ての学部が1つのキャンパスにある特徴を教育・研究の両面に活かし、高度な専門職業人の養成に主眼を置いた教育、教育の基盤としての質の高い研究、地域に根ざした国際化を展開しています。岐阜大学では「学び、究め、貢献する」人材を社会に送り出すことを理念・目標に掲げ、以下の基盤的能力及び専門的能力を総合的に身に付けた人に学士の学位を授与します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 豊かな人間性を支える基盤的能力 <ul style="list-style-type: none"> － 考える力（総合的判断力） － 伝える力（コミュニケーション力） － 進める力（自立的行動力） ● 専門職業人として必要な専門的能力 <ul style="list-style-type: none"> － 社会に貢献できる専門的知識・技能 － 深い見識と専門分野に立脚した見方・考え方 － 広い教養と高い倫理観に基づく社会的責任感
教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー) <p>岐阜大学は、基盤的能力及び専門的能力を備えた人材を育成するため、以下の方針に基づいて到達目標を明確にした体系的な教育課程を編成し、点検・評価を通じた不断の改革に取り組みつつ実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 豊かな人間性を支える基盤的能力を培う ● 自らの学習成果を適切に評価し、自主的な学習に責任をもって取り組む態度を培う ● 人文科学、社会科学、自然科学、岐阜学、スポーツ・健康科学、英語／言語と文化、社会人リテラシー及び数理・データサイエンス・AI の各分野にわたる教養教育を実施し、生涯学習の基礎を培う ● 専門分野を生かした見方・考え方を培う ● 社会的責任を果たすことができる倫理観を培う
入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー) <p>岐阜大学は、自然豊かな1つのキャンパスで、幅広い分野において「学び、究め、貢献する」人材を育てます。大学での学修に必要な基礎知識と技能を備えており、次のような人の入学を期待しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 知的好奇心にあふれ、自ら進んで学ぼうとする人 ● さまざまな見方や論理的な考え方ができる人 ● 相手の意見を聞き、自分の考えを伝えることができる人 ● 楽しく、積極的に課題を探求しようとする人 ● これからの地域や国際社会で活躍したい人 <p>上記の学力や意欲などを有する学生を選抜するために、各学部において、それぞれのディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーを踏まえ、学力試験や小論文試験などにより、受験者を多面的・総合的に評価する大学入試を実施します。詳しくは、各学部等のアドミッション・ポリシーや学生募集要項をご覧ください。</p>

■ 岐阜大学の教育における3つの方針（大学院）

修了認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー) <p>岐阜大学大学院は、全ての研究科が1つのキャンパスにある特徴を教育・研究の両面に活かし、高度な専門職業人の養成に主眼を置いた教育、教育の基盤としての質の高い研究、地域に根ざした国際化を展開しています。岐阜大学では「学び、究め、貢献する」人材を社会に送り出すことを理念・目標に掲げ、以下の基盤的能力及び専門的能力を総合的に身につける人に学位を授与します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 高度な専門職業人としての基盤的能力 <ul style="list-style-type: none"> － 考える力（総合的判断力） － 伝える力（コミュニケーション力） － 進める力（自立的行動力） ● 高度な専門的能力 <ul style="list-style-type: none"> － 社会に貢献できる高度な専門的知識・技能 － 深い見識と専門分野に立脚した見方・考え方 － 広い教養と高い倫理観に基づく社会的責任感
教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー) <p>岐阜大学大学院は、基盤的能力及び専門的能力を備えた高度な専門職業人を養成するため、以下の方針に基づいて到達目標を明確にした体系的な教育課程を編成し、点検・評価を通じた不断の改革に取り組みつつ実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 社会に貢献できる高度な専門的知識・技能を培う ● 深い見識と専門分野に立脚した見方・考え方を培う ● 広い教養と高い倫理観に基づく社会的責任感を培う
入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー) <p>岐阜大学大学院は、自然豊かな1つのキャンパスで、幅広い分野において「学び、究め、貢献する」人材を育てます。大学院での学修と研究に必要な基礎的専門知識と技能を備えており、次のような人の入学を期待しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 知的好奇心にあふれ、自ら研究を行う意欲のある人 ● 総合的かつ論理的にものごとを考えることができる人 ● 広い教養と高い倫理観をもち、研究における社会的責任を認識している人 ● これからの地域や国際社会でリーダーとして活躍したい人 <p>上記の学力や意欲などを有する学生を選抜するために、各研究科において、それぞれのディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーを踏まえ、学力試験や小論文試験などにより、受験者を多面的・総合的に評価する大学院入試を実施します。詳しくは、各研究科のアドミッション・ポリシーや学生募集要項をご覧ください。</p>

本学は、岐阜大学環境方針に基づき、環境に配慮した特色ある諸活動を継続的に展開し、地域社会に貢献し、地域とともにありつづける大学として2009年11月27日に「環境ユニバーシティ」を宣言しました。

【岐阜大学環境方針】

岐阜大学は、本学が掲げる理念を達成するとともに、「環境ユニバーシティ」としての取組みを継続発展させ、環境に配慮した大学環境を創り出すとともに環境を担う優れた人材育成に努めます。

【基本方針】

1. 岐阜大学の特長を生かした環境教育・研究を推進します。
2. 教育・研究活動の環境側面を常に認識し、環境影響を評価し、汚染の予防に努めます。
3. 省エネルギー、省資源を推進し環境負荷の一層の軽減に努めます。
4. 教育・研究に関わる順守義務の適合に努めます。
5. 環境パフォーマンスを向上させるため、環境マネジメントシステムの継続的な改善を図ります。
6. 教育・研究を通して、気候変動の緩和・適応及び生物多様性の保護に寄与します。
7. 毎年度活動目標を設定し、達成していきます。

岐阜大学は、この環境方針を学内外に周知し、広く公開します。

岐阜大学は、全学でISO14001を認証取得しています。（附属病院を除く）

本学は、環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001を、2003年に地域科学部で認証取得してから、順次、その認証範囲を拡大し、2013年には、附属病院を除く全学で認証取得しました。2016年には、新規格であるISO14001:2015の認証を取得し、新規格に基づいた運用を行っています。



環境報告書を発行しています。

環境負荷の状況や環境配慮の取り組みを公表すること目的に、毎年9月に作成しています。



学生編集委員による研究室インタビュー

岐阜大学環境月間（毎年11月）

「環境ユニバーシティ」宣言日（2009年11月27日）に因んで、毎年11月を岐阜大学環境月間と定め、さまざまな関連行事を行っています。



学生・教職員によるクリーンキャンパス



エコポスター表彰



学生によるISO14001の内部環境監査



「ISO14001 内部環境監査員養成研修」修了証書授与式

東海国立大学機構

岐阜大学

名古屋大学

学長

副学長

■ 教育研究組織・学部等事務組織

学部等

```

graph TD
    ED[教育学部] --- AS1[附属小中学校]
    ED --- AS2[附属特別支援教育センター]
    ED --- AS3[附属学習協創開発研究センター]
    ED --- ESD[教育学部事務部]
    DSD[地域科学部] --- DSDM[地域科学部事務部]
    MED[医学部] --- AH[附属病院]
    MED --- MEC[医学教育開発研究センター  
(医学教育共同利用拠点)]
    MED --- AMC[附属地域医療医学センター]
    MED --- QMC[附属量子医学イノベーションリサーチセンター]
    MED --- MRS[医学系研究科・医学部事務部]
    WSD[工学部] --- AIT[附属インフラマネジメント技術研究センター]
    WSD --- AAC[附属応用気象研究センター]
    WSD --- AP[附属プラズマ応用研究センター]
    WSD --- AU[附属宇宙研究利用推進センター]
    WSD --- MT[ものづくり技術教育支援センター]
    WSD --- WSDM[工学部事務部]
    ABSD[応用生物科学部] --- AFSC[附属岐阜フィールド科学教育研究センター]
    ABSD --- ADH[附属動物病院]
    ABSD --- AWMD[附属野生動物管理学研究センター]
    ABSD --- CMM[附属共同獣医学教育開発推進センター]
    ABSD --- AHD[附属家畜衛生地域連携教育研究センター]
    ABSD --- ABSDM[応用生物科学部事務部]
    SSOE[社会システム経営学環]

```

大学院

```

graph LR
    ESRK[教育学研究科] --- CER[心理教育相談室]

```

地域科学研究科

医学系研究科

工学研究科

自然科学技术研究科

共同獣医学研究科

岐阜大学 鳥取大学

附属獣医学教育研究開発推進センター

連合農学研究科

岐阜大学 静岡大学

連合創薬医療情報研究科

岐阜大学 岐阜薬科大学

社会システム経営学環

```

graph LR
    HRI[高等研究院]
    DSC[地域協学センター]
    SLC[糖鎖生命コア研究所]
    BSC[保健管理センター]

```

■ 運営支援組織

```

graph TD
    LIB[図書館]
    ESS[教育推進・学生支援機構]
    SPB[学術研究・産学官連携推進本部]
    GPO[グローバル推進機構]
    IOP[情報連携推進本部]
    WCRP[男女共同参画推進室]
    ECP[環境対策室]
    DRP[災害対策室]
    ACP[広報企画室]
    PV[評価室]
    SMP[施設マネジメント推進室]
    APRP[公正研究推進室]
    ULP[大学戦略室]
    DO[Development Office]
    DS[障害者支援室]

```

■ 事務局組織

```

graph TD
    TMA[東海国立大学機構事務局]
    TMA --- TMAO[事務局長]
    TMA --- TMAO[事務局次長]
    TMAO --- GS[岐大病院事務部]
    TMAO --- GS[名大病院事務部]
    GS --- GSU[総務課]
    GS --- GSU[広報課]
    GS --- GSU[人事企画課]
    GS --- GSU[人事労務課]
    GS --- OEP[経営企画部]
    OEP --- OEP[経営企画課]
    FPD[財務部]
    FPD --- FPD[財務課]
    FPD --- FPD[決算課]
    FPD --- FPD[資金管理課]
    FPD --- FPD[経理第一課]
    FPD --- FPD[経理第二課]
    ESD[教育戦略部]
    ESD --- ESD[教育戦略課]
    ESD --- ESD[教育基盤統括本部]
    RSD[研究戦略部]
    RSD --- RSD[研究企画課]
    RSD --- RSD[研究安全管理課]
    RSD --- RSD[産学官連携課]
    RSD --- RSD[研究事業課]
    SUD[施設統括部]
    SUD --- SUD[施設企画課]
    SUD --- SUD[資産課]
    SUD --- SUD[建築課]
    SUD --- SUD[設備課]
    SUD --- SUD[環境安全課]
    IED[情報環境部]
    IED --- IED[情報企画課]
    IED --- IED[情報システム運用課]
    LIBI[図書館情報部]
    LIBI --- LIBI[情報管理課]
    TMAO --- TMAO[岐阜大学教学事務部門]
    TMAO --- TMAO[学部・研究科等事務部]
    TMAO --- TMAO[研究推進部]
    TMAO --- TMAO[研究推進課]
    TMAO --- TMAO[研究資金支援課]
    TMAO --- TMAO[研究組織支援課]
    TMAO --- TMAO[教務課]
    TMAO --- TMAO[教学企画課]
    TMAO --- TMAO[全学連携教育課]
    TMAO --- TMAO[学生支援課]
    TMAO --- TMAO[入試課]
    TMAO --- TMAO[国際事業課]
    TMAO --- TMAO[学術情報課]

```

教育学部 1 課程 12 講座	学校教育教員養成課程	講 座	国語教育, 社会科教育, 数学教育, 理科教育, 音楽教育, 美術教育, 保健体育, 技術教育, 家政教育, 英語教育, 学校教育, 特別支援教育
		附属特別支援教育センター	
	附属施設	附属学習協創開発研究センター 附属小中学校	
地域科学部 2 学科 4 講座	地域政策学科	講 座	地域政策, 地域環境
	地域文化学科		地域文化, 地域構造
医学部 2 学科	医 学 科	学科目	生理学, 生化学, 人体構造学, 神経構造機能学, 病原体学, 薬理・中毒学, 病理学, 循環器・呼吸器・腎尿路学, 消化器・検査・血液腫瘍学, 内分泌代謝学, 脳神経学, 成育学, 生命倫理・法医学, 臨床遺伝・臨床倫理, 皮膚科学, 免疫応答学, 感覚器医学, 運動器学, 麻酔疼痛制御・救急災害, 画像診断・放射線治療, 精神医学, 地域・産業保健学
	看護学科	講 座	総合基礎科学, 地域生涯発達看護学, 地域健康支援看護学
		附属病院	
		附属施設	医学教育開発研究センター（医学教育共同利用拠点）
			附属地域医療医学センター
			附属量子医学イノベーションリサーチセンター
工 学 部 4 学科 8 コース	社会基盤工学科	コース	環境・防災デザイン
			機械, 知能機械
			物質化学, 生命化学
			電気電子, 情報, 応用物理
	機械工学科	附属施設	附属インフラマネジメント技術研究センター
			附属応用気象研究センター
			附属プラズマ応用研究センター
			附属宇宙研究利用推進センター
	化学・生命工学科		ものづくり技術教育支援センター
応用生物科学部 2 課程 1 学科	応用生命科学課程	コース	分子生命科学, 食品生命科学
			応用植物科学, 応用動物科学, 環境生態科学
	共同獣医学科	附属施設	附属岐阜フィールド科学教育研究センター
			附属動物病院
			附属野生動物管理学研究センター
			附属共同獣医学教育開発推進センター
			附属家畜衛生地域連携教育研究センター
社会システム 経営学環			

■ 大学院

教育学研究科	学 位 程 度	教職実践開発専攻	コース	学校管理職養成、教育実践開発、教科指導能力開発																		
		教育臨床心理学専攻																				
地域科学研究科	修 士 程 度	地域政策専攻	領域	経済社会、行政社会、自然環境																		
		地域文化専攻		社会生活、人間文化																		
医学系研究科	博 士 程 度	医科学専攻	講座	<table border="1"> <tbody> <tr><td>生命原理学</td><td>解剖学、生体物理・生理学、分子病態学、神経生理学、薬理病態学、再生機能医学</td></tr> <tr><td>生命秩序学</td><td>高次神経形態学、細胞情報学、形態機能病理学、法医学、生命機能分子設計学</td></tr> <tr><td>生命関係学</td><td>寄生虫学、感染学、病原体制御学、腫瘍病理学、疫学・予防医学、医学系倫理・社会医学、産業衛生学、医学教育学、医療経済学、システム生物学</td></tr> <tr><td>内科学</td><td>消化器内科学、臨床腫瘍学、循環器内科学、呼吸器内科学、血液・感染症内科学、糖尿病・内分泌代謝内科学、膠原病・免疫内科学、腎臓内科学、総合診療科・総合内科学</td></tr> <tr><td>外科学</td><td>分野 心臓血管外科学、呼吸器外科学、消化器外科・小児外科学、乳腺外科学</td></tr> <tr><td>脳神経科学</td><td>脳神経内科学、脳神経外科学、脳病態解析学（連携大学院）、精神医学</td></tr> <tr><td>感觉運動医学</td><td>整形外科学、リハビリテーション学、皮膚科学、形成外科学、眼科学、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、口腔外科学</td></tr> <tr><td>生体管理医学</td><td>麻酔科・疼痛医学、泌尿器科学、救急・災害医学、放射線医学、臨床検査医学、臨床薬剤学、臨床病理学</td></tr> <tr><td>生殖・発育医学</td><td>小児科学、産科婦人科学</td></tr> </tbody> </table>	生命原理学	解剖学、生体物理・生理学、分子病態学、神経生理学、薬理病態学、再生機能医学	生命秩序学	高次神経形態学、細胞情報学、形態機能病理学、法医学、生命機能分子設計学	生命関係学	寄生虫学、感染学、病原体制御学、腫瘍病理学、疫学・予防医学、医学系倫理・社会医学、産業衛生学、医学教育学、医療経済学、システム生物学	内科学	消化器内科学、臨床腫瘍学、循環器内科学、呼吸器内科学、血液・感染症内科学、糖尿病・内分泌代謝内科学、膠原病・免疫内科学、腎臓内科学、総合診療科・総合内科学	外科学	分野 心臓血管外科学、呼吸器外科学、消化器外科・小児外科学、乳腺外科学	脳神経科学	脳神経内科学、脳神経外科学、脳病態解析学（連携大学院）、精神医学	感觉運動医学	整形外科学、リハビリテーション学、皮膚科学、形成外科学、眼科学、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、口腔外科学	生体管理医学	麻酔科・疼痛医学、泌尿器科学、救急・災害医学、放射線医学、臨床検査医学、臨床薬剤学、臨床病理学	生殖・発育医学	小児科学、産科婦人科学
生命原理学	解剖学、生体物理・生理学、分子病態学、神経生理学、薬理病態学、再生機能医学																					
生命秩序学	高次神経形態学、細胞情報学、形態機能病理学、法医学、生命機能分子設計学																					
生命関係学	寄生虫学、感染学、病原体制御学、腫瘍病理学、疫学・予防医学、医学系倫理・社会医学、産業衛生学、医学教育学、医療経済学、システム生物学																					
内科学	消化器内科学、臨床腫瘍学、循環器内科学、呼吸器内科学、血液・感染症内科学、糖尿病・内分泌代謝内科学、膠原病・免疫内科学、腎臓内科学、総合診療科・総合内科学																					
外科学	分野 心臓血管外科学、呼吸器外科学、消化器外科・小児外科学、乳腺外科学																					
脳神経科学	脳神経内科学、脳神経外科学、脳病態解析学（連携大学院）、精神医学																					
感觉運動医学	整形外科学、リハビリテーション学、皮膚科学、形成外科学、眼科学、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、口腔外科学																					
生体管理医学	麻酔科・疼痛医学、泌尿器科学、救急・災害医学、放射線医学、臨床検査医学、臨床薬剤学、臨床病理学																					
生殖・発育医学	小児科学、産科婦人科学																					
看護学専攻	領域	<table border="1"> <tbody> <tr><td>看護学教育</td><td>看護学教育</td></tr> <tr><td>看護学教育</td><td>看護学教育</td></tr> <tr><td>看護学教育</td><td>看護学教育</td></tr> <tr><td>看護学教育</td><td>看護学教育</td></tr> </tbody> </table>	看護学教育	看護学教育	看護学教育	看護学教育	看護学教育	看護学教育	看護学教育	看護学教育												
看護学教育	看護学教育																					
看護学教育	看護学教育																					
看護学教育	看護学教育																					
看護学教育	看護学教育																					
<table border="1"> <tbody> <tr><td>看護学教育</td><td>看護学教育</td></tr> <tr><td>看護学教育</td><td>看護学教育</td></tr> <tr><td>看護学教育</td><td>看護学教育</td></tr> <tr><td>看護学教育</td><td>看護学教育</td></tr> </tbody> </table>	看護学教育	看護学教育	看護学教育	看護学教育	看護学教育	看護学教育	看護学教育	看護学教育														
看護学教育	看護学教育																					
看護学教育	看護学教育																					
看護学教育	看護学教育																					
看護学教育	看護学教育																					
医療者教育学専攻	領域	医療者能力開発学、医療者教育プログラム開発学、医療系倫理・社会医学教育学、総合病態内科学、地域医療教育学、医師育成学																				
		心肺呼吸先端医学講座(岐阜県厚生農業協同組合連合会)、地域腫瘍学講座(岐阜県厚生農業協同組合連合会)、地域医療運動器医学講座(関ケ原町)、関節再建外科学先端医療講座(京セラ株式会社、ジンマー・バイオメット合同会社、スマス・アンド・ネフューブル株式会社)、先端画像開発講座(岐阜県厚生農業協同組合連合会)、低侵襲・がん集学的治療学講座(岐阜県厚生農業協同組合連合会)、ミヤリサン製薬株式会社、関ケ原町)、地域医療放射線医学講座(高山赤十字病院)、虐待に関する救急医学講座(岐阜市民病院)、感染症対応講座(岐阜県)、岐阜県口コモ予防治療医学講座(岐阜県厚生農業協同組合連合会)、臨床解剖発達学講座(岐阜県厚生農業協同組合連合会)、先端ゲノム医療開発学講座(中部薬品株式会社)、小児希少難病早期診断・予防医学講座(一般財団法人岐阜県公衆衛生検査センター)、周術期疼痛制御・人材育成講座(岐阜県厚生農業協同組合連合会)、がん先端治療国際地域支援講座(社会医療法人厚生会)、地域共創型飛騨高山医療者教育学講座(高山市)、放射線量子医学研究講座(大垣市民病院)、先端医療小児外科学講座(地方独立行政法人岐阜県総合医療センター)																				
共同研究 講座	領域	共同研究 講座 ファージバイオロジクス研究講座(アステラス製薬株式会社)																				
工学研究科	博 士 程 度	工学専攻	領域	岐阜大学・インド工科大学グワハティ校国際連携統合機械工学専攻																		
				岐阜大学・マレーシア国民大学国際連携材料科学工学専攻																		
自然科学技術研究科	修 士 程 度	生命科学・化学専攻	領域	生命・創薬、分子生命科学、食品生命科学																		
				応用植物科学、応用動物科学、環境生態科学																		
		生物生産環境科学専攻		環境社会基盤工学																		
				物質・ものづくり工学専攻																		
		環境社会基盤工学専攻		物質化学、設計生産																		
				知能理工学専攻																		
				エネルギー工学専攻																		
共同獣医学研究科	博 士 程 度	共同獣医学専攻	講座	岐阜大学・インド工科大学グワハティ校国際連携食品科学技術専攻																		
				基礎獣医学、病態・応用獣医学、臨床獣医学																		
連合農学研究科	博 士 程 度	生物生産科学専攻	領域	植物生産管理学、動物生産利用学																		
				環境整備学、生物環境管理学																		
		生物資源科学専攻		生物資源利用学、スマートマテリアル科学、生物機能制御学																		
				岐阜大学・インド工科大学グワハティ校国際連携食品科学技術専攻																		
連合創薬医療情報研究科	博 士 程 度	研究領域	研究領域	生命分子科学、システム生命工学																		
				創薬科学専攻																		
		共同研究 講座		多段階重合発酵機能性共同研究講座(株式会社日本自然発酵)																		
		医療情報学専攻	研究領域	生命情報、生体制御																		

■ 図書館

蔵書数

区分	図書(冊)			雑誌(種)		
	和書	洋書	計	和雑誌	洋雑誌	計
図書館	530,913	215,985	746,898	9,814	3,882	13,696
医学図書館	82,848	86,563	169,411	1,527	1,803	3,330

2024年4月1日現在



受付カウンター 入館ゲート

開館時間・休館日

区分	月～金曜日	土曜日	日・祝日(試験期間のみ)	休館日	
				夏季一斉休業日(8.10～18) 年末年始(12.28～1.4)	学休期間の一部土曜日
図書館	9:00～20:00*1)	10:00～18:00	10:00～18:00	日曜日、祝日 *2)	夏季一斉休業日(8.10～18) 年末年始(12.28～1.4)
医学図書館	9:00～19:00*1)	10:00～18:00		日曜日、祝日	夏季一斉休業日(8.10～18) 年末年始(12.28～1.4)

備考 休館日若しくは閉館時間を変更する場合がある。 *1) 一部平日に短時間開館あり(開館予定表は図書館ホームページにて)。 *2) 試験期間を除く。

利用状況(2023年度)

入館者数(人)	区分	教職員	学生	学外者	計
		図書館	蔵書スペース他	2,360	112,009
		医学図書館	ブレンゼルーム*1)	276	
	貸出冊数(冊)	3,824	19,337	978	24,139
	計				136,148
	図書館	3,325	34,046	619	37,990
	医学図書館	616	3,828	6	4,450
	計	3,941	37,874	625	42,440
	図書館	1,144		712	1,856
	医学図書館	501		1,179	1,680
	計	1,645		1,891	3,536

備考 開館日数 図書館：274日、医学図書館：283日

*1) プロジェクターや無線LAN等を備え、グループ学習やプレゼンテーション等の練習が可能な学習支援の場。



本館

■ アーカイブ・コア

アーカイブ・コアは岐阜大学創立70周年記念事業として図書館内に整備され、「PRAETER(プラエテール)」と「FUTURUM(フトゥルム)」の2つのゾーンから構成されている。

収蔵資料の例

教育学部 所蔵資料	世界最古級の印刷物「百万塔」、加納藩小川家甲冑
応用生物科学部 所蔵資料	カイコの解剖模型、農作物害虫図
工学部 所蔵資料	プラズマ CVD装置、フレキシブル太陽電池
医学部・附属病院 所蔵資料	教育解剖図(丹下 年男作)、日本画(守屋 多々志作)
地域科学部 所蔵資料	自治体史、各種行政資料、郷土資料 (所蔵場所: 地域資料・情報センター)

備考 上記の他、岐阜県内出土の考古資料等の古文書(90,000点超)、写真や絵画等の美術作品(約60点)、剥製や卵等の標本(約1,100点)、人体解剖図(534点)を保管している。



PRAETER内 剥製標本群

■ 医学部附属病院

医学部附属病院は、県下唯一の大学医学部附属病院、特定機能病院として先進・高度医療を担い、がん・心筋梗塞・脳卒中・糖尿病・精神疾患の5疾病及び救急医療・災害医療・へき地医療・周産期医療・小児医療・新興感染症の6事業に積極的に取り組んでおり、都道府県がん診療連携拠点病院、高度救命救急センターをはじめ、難病疾患、肝炎、AIDS、周産期、基幹災害、原子力災害、アレルギー、循環器、脳卒中疾患などの拠点等に指定されている。2019年1月に、岐阜医療圏地域コンソーシアムが設立され、県内の医療発展のため、さまざまな院内外の連携を図るとともに、院内においても診療科の垣根を超えたチーム医療を推進・実施している。さらに2022年4月に感染制御室、医療の質管理室、総合臨床研修部、メディカルスタッフ研修支援センター、2023年1月に総合患者サポートセンター、2024年4月にロボット支援手術センターを新たに設置するなど、より安全で質の高い医療を目指している。

本院はポストコロナ時代に適応した「スマートホスピタル」の実現と「社会と医療のニーズに応える病院」を目指しており、特に安心・安全を基盤とした特定機能病院として、より先進的な医療を提供すると同時に地域に密着した病院としての役割を果たすべく、医療安全、臨床研究の推進、国際的にも活躍できる人材育成、よりよい医療の提供に取り組んでいる。



医学部附属病院

患者数(2023年度)

	初診延患者数	17,439人
	患者延数	204,636人
入院	再診延患者数	303,717人
1日平均患者数	559.11人	
病床稼働率	91.06%	
入院稼働日数	366日	

	初診延患者数	17,439人
	患者延数	204,636人
外来	再診延患者数	303,717人
	計	321,156人
	1日平均患者数	1,321.63人
	外来診療日数	243日

患者数の推移



診療科及び病床数

2024年4月1日現在	
区 分	病床数
第1内科	60
耳鼻咽喉科	37
血液内科	9
形成外科	22
第2内科	50
皮膚科	37
第3内科	20
泌尿器科	17
脳神経内科	11
総合内科	11
小児科	26
心臓血管外科	1
呼吸器外科	103
麻酔科疼痛治療科	1
消化器外科	6
乳腺外科	30
産婦人科	46
高次救命治療センター	30
ICU	12
整形外科	44
新生児集中治療部	44
脳神経外科	16
眼科	614
計	614

■ 応用生物科学部附属動物病院

応用生物科学部附属動物病院は、獣医学の教育・研究・診療を実践する中部地区で唯一の施設である。近年の診療件数の増加に対応するため、またペットオーナーの求める高度な動物医療を提供するため、2010年4月に診療棟と多目的棟(旧リニアック棟)、2012年4月にMRI-CT棟を増築した。診療棟は個室型の診察室、脳外科手術にも対応できる陽圧手術室、集中治療室などを備え、画像診断装置など最新の医療設備と電子カルテを導入した先進施設である。なお、国立大学では初めてとなる高エネルギー型放射線治療器、MRI棟には磁気共鳴断層装置(MRI)を導入した。さらに、2023年7月には高精度放射線治療が可能な放射線治療システムへ更新した。

本院の特色は、伴侶動物及び産業動物を診察する複数の診療科を有していることである。伴侶動物を診療する内科、外科、腫瘍科、麻酔科、神経科、整形外科においては東海地区をはじめ近畿、北陸地区の個人病院から紹介を受け年間約10,200件の診療を行っており、産業動物科においては、岐阜地区における産業動物診療の一翼を担っている。



2024年4月1日現在

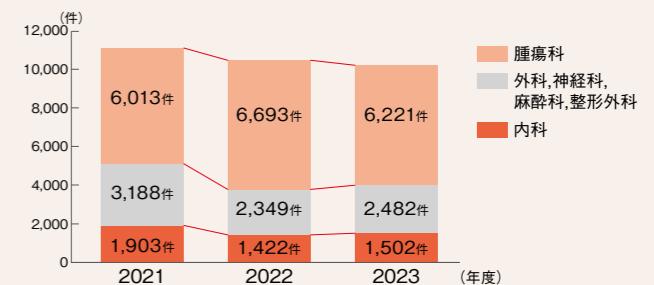
施設及び設備

名称	床面積 (m ²)	主な施設
診療棟	912	1階：診察室（7室）、超音波検査室、処置室、第1検査室、薬室、受付事務室 2階：陽圧手術室、一般手術室（3手術台）、手術準備室、集中治療室、回復室、仮眠室（2室）
動物病院多目的棟・MRI-CT 棟	341	高エネルギー型放射線治療室、磁気共鳴断層検査室、操作室
動物病院棟（1階）	438	内視鏡・腹腔鏡検査室、歯科口腔外科診療室、X線・画像解析室、第2検査室、病院長室・相談室、動物病院事務室
CT 棟	47	X線 CT撮影室、操作室
管理棟	260	動物入院室、供血動物室、医局
リニアック棟	400	高精度放射線治療室、休憩室、犬舍
合 計	2,398	

動物種類別の診療件数(実数)

年度	伴侶動物(件数)			産業動物(件数)					総計
	犬	猫	その他	計	牛	馬	豚	綿・山羊	計
2021	9,111	1,980	1	11,092	3	2	0	7	11,104
2022	8,677	1,781	0	10,458	1	0	2	4	10,465
2023	8,388	1,814	3	10,205	1	1	0	0	10,207

内科・外科・神経科・麻酔科・整形外科・腫瘍科の診療件数(実数)の推移



■ 医学教育共同利用拠点

医学教育開発研究センター

医学教育に貢献できる人材育成と、国内外の医学教育機関との連携・共同研究を推進する全国共同利用施設として2001年に設立された。2010年4月には全国唯一の「医学教育共同利用拠点」として文部科学省から認定され、2020年4月からさらに5年間の拠点継続が承認された。拠点事業として毎年3回開催する「医学教育セミナーとワークショップ」は全国規模の教員養成プログラムとして高く評価されている。また、全国の医学部・医療系教育機関でリーダーとなる人材を育成するプログラムを開講し、修了者を「MEDCフェロー／アソシエイト」として認定している。

教育開発学部門では医療者教育の教育法・プログラム・評価法の開発に取り組み、指導者養成部門では、医療指導者のキャリア支援及び教育力の開発に取り組んでいる。プロフェッショナリズム教育、アウトカム基盤型医学教育、コンピュータ支援学習、ポートフォリオ評価システム、国際交流と医療英語教育、医療者教育学(修士課程)と医学教育学(博士課程)の大学院教育にも力を入れている。

[教育開発学部門、指導者養成部門]



中央診療施設等		
検査部	生体支援センター	ゲノム疾患・遺伝子診療センター
手術部	がんセンター	ベッドコントロールセンター
放射線部	エイズ対策推進センター	呼吸器センター
材料部	肝疾患診療支援センター	アレルギーセンター
輸血部	リハビリテーション部	国際医療センター
病理部	成育医療センター	循環器センター
総合診療部	医療機器センター	炎症性腸疾患センター
医療情報部	高次画像診断センター	難聴児支援センター
光学医療診療部	新生児集中治療部	ドクタークラーケ部
高次救命治療センター	オートシー・イメージングセンター	栄養管理室
総合患者サポートセンター	脳卒中センター	ロボット支援手術センター

医療安全管理室	医師育成推進センター
薬剤部	看護師特定行為研修センター
看護部	内視鏡外科手術トレーニングセンター
診療録管理室	メディカルスタッフ研修支援センター
感染制御室	先端医療・臨床研究推進センター
医療の質管理室	臨床倫理室
総合臨床研修部	さわやかサービス推進室

■ 地域協学センター



地域協学センターは、「地域活性化の中核拠点」として地域社会づくりに貢献する大学を目指して、地域を知り、地域の課題を見つけ、地域の課題解決に向けて貢献できる「次世代地域リーダー」の育成（次世代地域リーダー育成プログラム）、地域の課題解決に向けた研究の推進（地域志向学研究）、地域の課題解決に向けて多様な人びとが対話し、新たな価値を創造する「対話・共創の場」づくり（ぎふフューチャーセンター）等に取り組んでいる。さらに、岐阜県と共同で設置した「ぎふ地域学校協働活動センター」におけるコーディネーターや「社会教育士」の育成、岐阜県や岐阜県教育委員会との連携による高大連携事業も展開している。このような取組みを推進するために、地域・自治体・教育機関・地元産業界・金融機関・市民活動団体等との協働体制を築き、地域の窓口としての役割をも担っている。

■ 保健管理センター



学生及び職員の健康増進、ならびに学生の安全衛生環境保持・改善を図るために、学内の保健計画を立案し、実践している。学生の健康診断の実施と生涯の健康を守るための保健指導、修学支援、救急処置、健康相談、健康啓発活動など、その業務は多彩である。特に、学生相談（メンタルヘルス）、障害学生支援、留学生の健康管理の充実を図っている。また、学生の健康に関する調査・研究を行い、学内の施策提言につなげているほか、県内の各大学と協働する中核を担っている。

■ OKB 岐阜大学プラザ (Tokai Open Innovation Complex 岐阜サイト)



共同研究等による企業の活動拠点、スタートアップの活動拠点、新たなオープンイノベーションを創成する産学交流拠点の3つの役割を担う拠点として、2023年度にTokai Open Innovation Complex 岐阜サイト（愛称：OKB岐阜大学プラザ）を整備した。名古屋大学に整備される、同機能を持つTokai Open Innovation Complex 名古屋サイトとも連携しながら、先端材料、カーボンニュートラル、デジタルトランスフォーメーションに関連する共同研究の組成や大学発スタートアップの創出支援を行うとともに、地域の企業や金融機関、アカデミア、行政機関等の多様なステークホルダーとの交流・対流により新たなイノベーションの創出を促進する。

教育 Education

学ぶ岐阜大学

■ 教育推進・学生支援機構

[体制図]



■ 学生数

学部学生

			2024年5月1日現在(人)							
学 部	学科等	入 学 定 員	編入学	現 員						
				1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	計
教育学部		220		233 (146) 1 (0)	231 (130)	233 (133)	265 (143)			962 (552) 1 (0)
地域科学部		100	10	104 (55) 2 (0)	106 (61) 1 (0)	115 (65) 2 (0)	124 (72) 5 (0)			449 (253) 10 (0)
医学部	医学科	110		117 (59) 2 (0)	117 (56)	109 (44) 1 (1)	105 (41) 1 (1)	91 (29) 1 (0)	111 (36) 2 (1)	650 (265) 7 (3)
	看護学科	80		80 (78)	81 (76)	84 (77)	76 (75)			321 (306) 0 (0)
工学部		510	30	559 (98) 2 (1)	540 (92) 4 (2)	530 (80) 5 (1)	588 (93) 7 (1)			2,217 (363) 18 (5)
応用生物科学部	応用生命科学課程 生産環境科学課程	160	10	166 (115)	185 (108)	177 (94)	168 (108)			696 (425) 5 (4)
	共同獣医学科	30		32 (14)	32 (18)	36 (22)	28 (21)	28 (20)	32 (22)	188 (117) 0 (0)
社会システム経営学環		30		31 (16)	30 (14)	32 (22)	32 (21)			125 (73) 0 (0)
合 計				1,240	50	1,322 (581) 7 (1)	1,322 (555) 6 (3)	1,316 (537) 10 (4)	1,386 (574) 15 (3)	119 (49) 1 (0)
現員には外国人留学生を含み、()内は女子を、下段は外国人留学生をそれぞれ内数で示す。										
2024年5月1日現在(人)										

大学院学生

			2024年5月1日現在(人)						
研究科	課程	入 学 定 員	現 員			学 位 名			
			1年次	2年次	計	学 位 名			
教育学研究科	専門職学位課程	40	47 (23)	36 (10)	83 (33)	教職修士(専門職)			

修士課程

			2024年5月1日現在(人)						
研究科	課程	入 学 定 員	現 員			学 位 名			
			1年次	2年次	計	学 位 名			
教育学研究科	修士課程	5	4 (3)	5 (5)	9 (8)	修士(教育学)			
地域科学研究科	修士課程	20	13 (8) 12 (7)	18 (12) 9 (8)	31 (20) 21 (15)	修士(地域科学)			
医学系研究科 (医療者教育学専攻)	修士課程	6	6 (2)	7 (2)	13 (4)	修士(医療者教育学)			
医学系研究科 (看護学専攻)	修士課程	8	8 (6)	9 (6)	17 (12)	修士(看護学)			
自然科学技術研究科	修士課程	375	502 (108) 32 (11)	502 (120) 30 (9)	1,004 (228) 62 (20)	修士(応用生物科学、工学 又は食品科学技術)			

博士課程

			2024年5月1日現在(人)						
研究科	課程	入 学 定 員	博士課程				小 計	学 位 名	
			1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次		学 位 名	
医学系研究科	博士課程	47	54 (11) 3 (1)	52 (13) 2 (1)	60 (13)	77 (26) 2 (1)	243 (63) 7 (3)	博士(医学)	
工学研究科	博士課程	27	23 (9) 14 (7)	26 (7) 18 (5)	62 (13) 28 (8)		111 (29) 60 (20)	博士(工学又は学術)	
共同獣医学研究科	博士課程	6	5 (2)	7 (1)	5 (0)	8 (2)	25 (5) 2 (0)	博士(獣医学)	
連合農学研究科	博士課程*	20	31 (14) 13 (6)	34 (17) 18 (13)	58 (22) 24 (12)		123 (53) 55 (31)	博士(農学又は学術)	
連合獣医学研究科	博士課程					3 (1)	3 (1)	博士(獣医学)	
連合創薬医療情報研究科	博士課程*	6	6 (4) 2 (2)	5 (2) 1 (1)	12 (4) 2 (2)		23 (10) 5 (5)	博士(工学、医科学 又は薬科学)	
大学院生 合計			560				1,685 (466) 212 (94)		

現員には外国人留学生を含み、()内は女子を、下段は外国人留学生をそれぞれ内数で示す。
*連合農学研究科及び連合創薬医療情報研究科は、後期3年のみの博士課程。

配置大学別学生数

研究 科	配 置 大 学	現 員				計
		1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	
連合農学研究科	静岡大学	10 (5)	4 (3)	10 (4)		24 (12)
	岐阜大学	21 (9)	30 (14)	48 (18)		99 (41)
連合獣医学研究科	東京農工大学					2 (0)
	岐阜大学					1 (1)
合 計			31 (14)	34 (17)	58 (22)	126 (54)

現員には外国人留学生を含み、()内は女子を内数で示す。

研究生・科目等履修生・聴講生等

部 局 等	研 究 生	特 別 研 究 生	科 目 等 履 修 生	聴 讲 生	特 別 聆 讲 生	内 地 留 学 生	現 職 教 育 生	研 修 留 学 生	日本 文 化 学 生	短 期 研 修 生	受 託 特 定 课 题	計

■ 入学状況

学部

学 部	1年次入学					3年次編入学				
	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
教育学部	220	554	489	242	233	-	-	-	-	-
地域科学部	100	396	254	111	104	10	26	22	10	10
医 学 部	110	307	231	111	111	-	-	-	-	-
看護学科	80	339	197	85	80	-	-	-	-	-
工 学 部	510	2,156	1,460	576	529	30	79	71	39	22
応用生物科学部	160	503	358	177	166	10	25	24	10	8
共同獣医学科	30	160	152	32	31	-	-	-	-	-
社会システム経営学環	30	177	160	32	31	-	-	-	-	-
合 計	1,240	4,592	3,301	1,366	1,285	50	130	117	59	40

*医学科の受験者数は、第1段階選抜（一般選抜・前期日程において実施）で不合格となった者を含まない。*外国人留学生を含む。

大学院

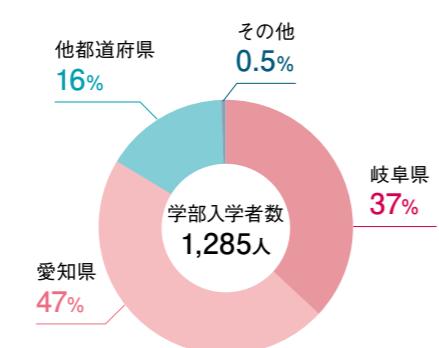
研究科等						入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
教育学研究科	専門職学位課程（教職大学院課程）	40	50	50	49	47				
	修士課程	5	19	17	8	4				
地域科学研究科	修士課程	20	15	15	13	13				
	看護学専攻（修士課程）	8	9	9	8	8				
医学系研究科	医療者教育学専攻（修士課程）	6	14	14	6	6				
	医科学専攻（博士課程）	47	58	58	55	53				
工学研究科	博士課程	27	17	17	17	15				
自然科学技術研究科	修士課程	375	587	571	514	490				
共同獣医学研究科	博士課程	6	7	7	6	5				
連合農学研究科	博士課程	20	26	23	23	23				
連合創薬医療情報研究科	博士課程	6	5	5	5	4				
合 計		560	807	786	704	668				

*入学者数は、4月入学者数（10月入学予定者は、連合農学研究科に7名あり）*外国人留学生を含む。

出身高校等の所在地別入学状況（学部・3年次編入学除く）

学 部	愛 知 県	岐 阜 県	三 重 県	滋 賀 県	静 駿 県	東 京 都	大 阪 府	長 野 県	京 都 府	他 都 道 府 県	*そ の 他	計	2024年度(人)
教育学部	64	150	5	2	2	0	0	0	0	9	1	233	
地域科学部	33	55	2	0	2	0	0	0	1	8	3	104	
医 学 部	70	80	4	3	3	10	4	1	3	12	1	191	
工 学 部	327	132	14	12	6	2	2	3	2	27	2	529	
応用生物科学部	86	44	6	3	5	3	5	5	4	36	0	197	
社会システム経営学環	19	8	1	1	0	0	0	1	0	1	0	31	
合 計	599	469	32	21	18	15	11	10	10	93	7	1,285	

*その他には高等学校卒業程度認定試験、外国の学校等を含む。*外国人留学生を含む。



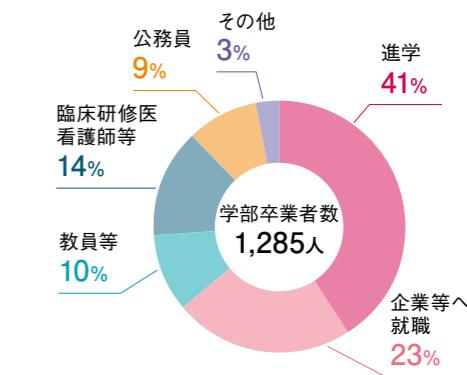
■ 学部卒業者数・進路状況

学部卒業者数

学 部 名	2023 年度	(人)
教育学部	232	19,940
地域科学部	120	2,868
医学部	186	6,473
工学部	昼間コース	545
	夜間主コース	847
応用生物科学部	202	14,585 *
計	1,285	72,250

*農学部の卒業生を含む。

卒業者進路状況



2023年度卒業者進路状況

進路状況

学部名 区分	教育学部	地域科学部	医 学 部		工 学 部	応用生物科学部	計
			医 学 科	看護学科			
卒業者数	232 (129)	120 (75)	112 (30)	74 (70)	545 (80)	202 (115)	1,285 (499)
進学者数	33 (20)	4 (2)			382 (48)	103 (49)	522 (119)
就職者数	196 (109)	111 (71)			70 (66)	141 (30)	91 (62)
社会人学生 (現職にとどまる者)							0 (0)
臨床研修医					108 (29)		
その他	3 (0)	5 (2)	4 (1)	4 (4)	22 (2)	8 (4)	46 (13)
計	232 (129)	120 (75)	112 (30)	74 (70)	545 (80)	202 (115)	1,285 (499)

就職者産業別状況

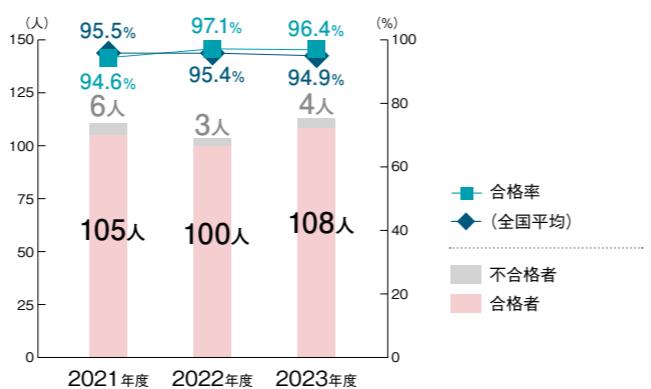
学部名 産業分類	教育学部	地域科学部	医 学 部		工 学 部	応用生物科学部	計
			医 学 科	看護学科			
農業、林業、漁業						9 (5)	9 (5)
鉱業、採石業、砂利採取業							0 (0)
建設業			7 (2)			19 (3)	1 (0)
製造業	5 (2)	13 (11)			59 (19)	23 (19)	100 (51)
電気・ガス・熱供給・水道業	1 (1)	1 (1)	.		2 (1)	1 (0)	5 (3)
情報通信業	7 (5)	11 (8)					

■ 国家試験合格状況・教員採用状況

医師国家試験合格状況

	2021年度	2022年度	2023年度
受験者数	111	103	112
合格者数	105	100	108
不合格者数	6	3	4
合格率	94.6%	97.1%	96.4%
(全国平均)	95.5%	95.4%	94.9%

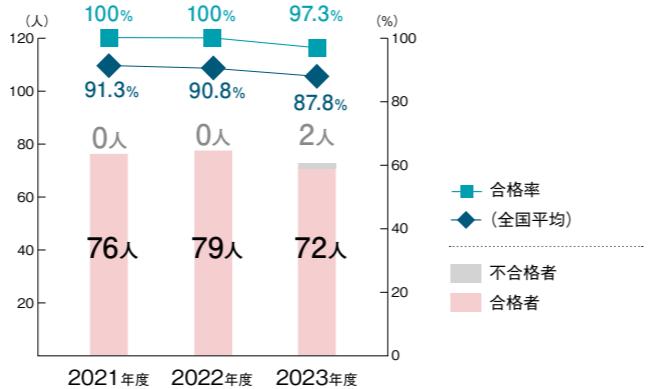
*新卒者のみ



看護師国家試験合格状況

	2021年度	2022年度	2023年度
受験者数	76	79	74
合格者数	76	79	72
不合格者数	0	0	2
合格率	100%	100%	97.3%
(全国平均)	91.3%	90.8%	87.8%

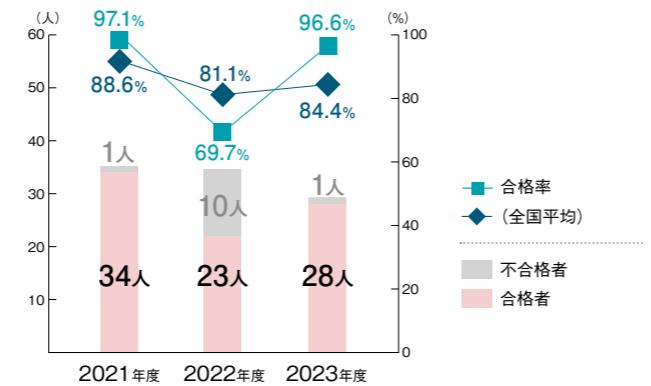
*新卒者のみ



獣医師国家試験合格状況

	2021年度	2022年度	2023年度
受験者数	35	33	29
合格者数	34	23	28
不合格者数	1	10	1
合格率	97.1%	69.7%	96.6%
(全国平均)	88.6%	81.1%	84.4%

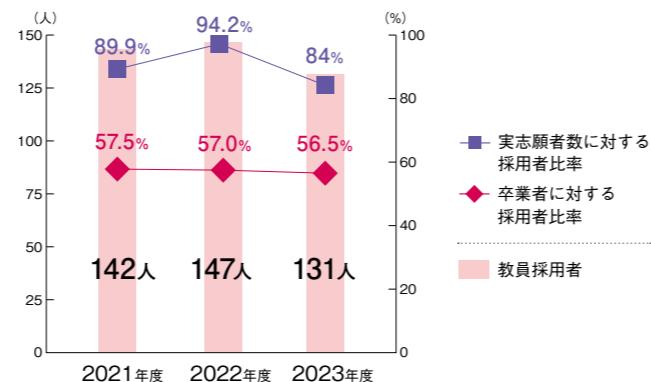
*新卒者のみ



教員採用率(教育学部)

	2021年度	2022年度	2023年度
卒業者数	247	258	232
教員実志願者数	158	156	156
教員採用者数	142	147	131
(うち臨時採用者数)	32	29	29
志願者数に対する採用者比率	89.9%	94.2%	84%
卒業者に対する採用者比率	57.5%	57.0%	56.5%

*学校教育教員養成課程、特別支援学校教員養成課程のみ



■ 大学院(修士・博士前期課程)修了者数・進路状況

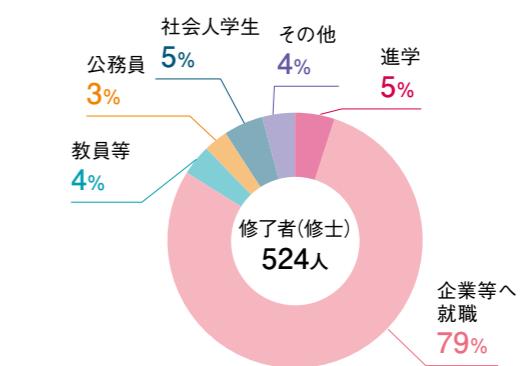
学位授与者数(修士)

修士	2023年度	累計
教育学	42	1,902 *1
地域科学	15	431
再生医学科		197
医療者教育学	6	24
看護学	9	120
工学	334	10,591
応用生物科学	117	3,714 *2
食品科学技術	1	5
計	524	16,984

*1 教職修士(専門職)の学位授与者を含む。

*2 農学の学位授与者を含む。

修士・博士前期課程 修了者進路状況



2023年度修了者進路状況(修士)

進路状況

区分	研究科名	教育学研究科		地域科学研究科	医学系研究科	自然科学技术研究科	計
		修士課程	専門職学位課程	修士課程	修士課程	修士課程	
	修了者数	11 (7)	31 (11)	15 (5)	15 (8)	452 (95)	524 (126)
	進学者数			1 (0)		4 (1)	26 (8)
	就職者数	9 (6)	13 (5)	4 (3)	4 (4)	418 (83)	448 (101)
	社会人学生 (現職にとどまる者)	2 (1)	17 (6)	2 (0)	7 (3)		28 (10)
	臨床研修医						0 (0)
	その他			9 (2)		13 (5)	22 (7)
	計	11 (7)	31 (11)	15 (5)	15 (8)	452 (95)	524 (126)

就職者 産業別状況

産業分類	研究科名	教育学研究科		地域科学研究科	医学系研究科	自然科学技术研究科	計
		修士課程	専門職学位課程	修士課程	修士課程	修士課程	
農業、林業						3 (1)	3 (1)
鉱業・採石業、砂利採取業						0 (0)	
建設業						19 (2)	19 (2)
製造業				1 (0)		290 (54)	291 (54)
電気・ガス・熱供給・水道業						18 (4)	18 (4)
情報通信業		1 (0)		2 (2)		41 (2)	44 (4)
運輸業、郵便業						5 (2)	5 (2)
卸売業、小売業						4 (2)	4 (2)
金融業、保険業			1 (0)			2 (0)	3 (0)
不動産取引・賃貸・管理業						2 (0)	2 (0)
学術研究、専門・技術サービス業						11 (5)	11 (5)
宿泊業、飲食サービス業						0 (0)	0 (0)
生活関連サービス業、娯楽業						0 (0)	0 (0)
学校教育		1 (1)	12 (5)		3 (3)	2 (1)	18 (10)
その他の教育、学習支援業		1 (1)		1 (1)		2 (0)	4 (2)
医療業、保健衛生		2 (1)		1 (1)		1 (1)	4 (3)
社会保険・社会福祉・介護事業		2 (1)					2 (1)
複合サービス事業							0 (0)
宗教、その他のサービス業						6 (3)	6 (3)
国家公務						3 (2)	3 (2)
地方公務		2 (2)				8 (4)	10 (6)
その他						1 (0)	1 (0)
計		9 (6)	13 (5)	4 (3)	4 (4)	418 (83)	448 (101)

() 内は女子を内数で示す。

■ 大学院(博士・博士後期課程)修了者数・進路状況

学位授与者数(博士)

博士	2023年度	累計
医学	課程博士	33
	論文博士	2
再生医科学	課程博士	1
	論文博士	0
工学	課程博士	21
	論文博士	0
学術	課程博士	2
	論文博士	0
農学	課程博士	23
	論文博士	2
獣医学	課程博士	6
	論文博士	1
葉科学	課程博士	2
	論文博士	0
医学	課程博士	1
	論文博士	0
計	94	5.506

2023年度修了者進路状況(博士・博士後期課程)

進路状況

区分	研究科名	医学系研究科		工学研究科	共同獣医学研究科*	連合農学研究科	連合創薬 医療情報研究科	計
		博士後期課程	博士課程					
修了者数		2 (2)	33 (5)	24 (7)	6 (2)	21 (8)	3 (2)	89 (26)
進学者数								0 (0)
就職者数			1 (0)	13 (1)	4 (2)	7 (3)		25 (6)
社会人学生 (現職にとどまる者)		2 (2)	32 (5)	6 (2)	2 (0)	6 (3)	2 (1)	50 (13)
臨床研修医								0 (0)
その他				5 (4)		8 (2)	1 (1)	14 (7)
計		2 (2)	33 (5)	24 (7)	6 (2)	21 (8)	3 (2)	89 (26)

就職者 産業別状況

産業分類	研究科名	医学系研究科		工学研究科	共同獣医学研究科*	連合農学研究科	連合創薬 医療情報研究科	計
		博士後期課程	博士課程					
農業、林業								0 (0)
鉱業、採石業、砂利採取業								0 (0)
建設業				1 (0)				1 (0)
製造業				2 (0)		2 (1)		4 (1)
電気・ガス・熱供給・水道業								0 (0)
情報通信業								0 (0)
運輸業、郵便業								0 (0)
卸売業、小売業								0 (0)
金融業、保険業								0 (0)
不動産取引・賃貸・管理業								0 (0)
学術研究、専門・技術サービス業				1 (0)	3 (1)	1 (0)		5 (1)
宿泊業、飲食サービス業								0 (0)
生活関連サービス業、娯楽業								0 (0)
学校教育				5 (0)	1 (1)	1 (1)		7 (2)
その他の教育、学習支援業				4 (1)		2 (1)		6 (2)
医療業、保健衛生				1 (0)				1 (0)
社会保険・社会福祉・介護事業								0 (0)
複合サービス事業								0 (0)
宗教、その他のサービス業					1 (0)			1 (0)
国家公務								0 (0)
地方公務								0 (0)
その他								0 (0)
計		0 (0)	1 (0)	13 (1)	4 (2)	7 (3)	0 (0)	25 (6)

() 内は女子を内数で示す。*連合獣医学研究科の学生も含む

■ 学生支援施設

福利厚生施設等



キャリア・就職支援センター
ウェルネスルーム
カモミール・カフェ



すみか (第1回岐阜大学フォト&アートコンテスト受賞作品)

■ 体育施設・課外活動施設

屋内体育施設		屋外体育施設		課外活動施設	
施設名	施設の内容	施設名	施設の内容	施設名	施設の内容
体育館	第1体育館、第2体育館更衣室 (ロッカー・シャワー)、器具庫 フィットネスルーム	陸上競技場	400m 8コース	体育系サークル 共用施設	共用室 10室(1室2サークル)、 会議室 1室
		野球場			
武道場	(剣道場、柔道場)	テニスコート	12面(人工芝6面、全天候6面)	文化系サークル 共用施設	共用室 10室(1室和室) (1室2~4サークル)
		弓道場			
		バレーボール コート	4面(全天候)	合宿所	
		ハンドボール コート	2面(クレー1面、全天候1面)	自動車車庫	
		バスケット ボールコート	3面(全天候)	グライダーグラウンド	
		サッカー場	1面	きゅう舎・馬場	
		ラグビー場	1面	アーチェリーアー	
		水泳プール	1基(50m 8コース)		

■ 学生サークル活動

課外活動団体一覧

2024年5月1日現在

全行事団体 (3団体)

- ◆ 岐阜大学祭全学執行委員会
- ◆ 岐阜大学全学春祭実行委員会
- ◆ 岐阜大学学生企業展実行委員会

文化系サークル (32団体)

- ◆ アコースティックギターサークル 央
- ◆ 裏千家茶道部
- ◆ 学生団体 Dream Box
- ◆ 学生保安消防隊
- ◆ 学生放送研究会ラジスタ
- ◆ 環境ユニバーシティ学生推進室 (G-amet)
- ◆ 管弦楽団
- ◆ ギター・マンドリンクラブ
- ◆ 競技かるた部
- ◆ 軽音楽部
- ◆ コーラスクラブ
- ◆ GI (岐阜大学生協学生委員会)
- ◆ 児童文化人形劇研究会コロッポ
- ◆ ジャグリングサークル Juggrass
- ◆ 写真研究会
- ◆ 吹奏楽団
- ◆ 生物科学研究会
- ◆ 地域ねこサークル
- ◆ ツキノワグマ研究会
- ◆ テーブルゲームサークル
- ◆ 動物園学生くらぶ
- ◆ 美術部
- ◆ フォーク村
- ◆ 文芸サークル
- ◆ 邦楽部
- ◆ 星を観る会
- ◆ 漫画研究会
- ◆ ユネスコ学生クラブ
- ◆ 落語研究会
- ◆ Ryugaku Love
- ◆ 緑化研究会 Three trees
- ◆ ロボコンサークル

体育系サークル (34団体)

- ◆ 合気道部
- ◆ アメリカンフットボール部
- ◆ 居合道部
- ◆ 空手道部
- ◆ 弓道部
- ◆ 剣道部
- ◆ 航空部
- ◆ 硬式庭球部
- ◆ 硬式野球部
- ◆ サッカー部
- ◆ 山岳部
- ◆ 自動車部
- ◆ 柔道部
- ◆ 準硬式野球部
- ◆ 少林寺拳法部
- ◆ 水泳部
- ◆ ストリートダンス部 MEC
- ◆ ソフトテニス部
- ◆ 体操競技部
- ◆ 卓球部
- ◆ チアリーダー部 Stars
- ◆ テコンドー部
- ◆ 馬術部
- ◆ バドミントン部
- ◆ バレーボール部
- ◆ ハンドボール部
- ◆ ハンドボール部
- ◆ フォーミュラーシング
- ◆ ポート部
- ◆ よさこいサークル騒屋
- ◆ ラクロス部
- ◆ ラグビー部
- ◆ 陸上競技部
- ◆ ワンダーフォーゲル部

医学部学生団体 (運動部) (18団体)

- ◆ 水泳
- ◆ バスケットボール
- ◆ ハンドボール
- ◆ 硬式テニス
- ◆ サッカー
- ◆ 陸上
- ◆ スキー
- ◆ ポート
- ◆ 弓道
- ◆ 判道
- ◆ ソフトテニス
- ◆ ゴルフ
- ◆ ラグビー
- ◆ 馬術
- ◆ バドミントン

医学部学生団体 (文化部) (12団体)

- ◆ GEMs(岐阜救急医療学生研究会)
- ◆ 奥穂高診療クラブ
- ◆ ぎふ医療ケアサークル
- ◆ 箏曲
- ◆ リーベ・バルツェ(軽音)
- ◆ 美術
- ◆ カスタニユエラ(バンド)
- ◆ きりんの会(臨床技能)
- ◆ GIFMSA(国際医学生連盟岐阜)
- ◆ ピアノ
- ◆ 室内合奏団
- ◆ アウトドア

上記の他に、同好会 (49団体) がある。



秋の野外ライブ(第1回岐阜大学フォト&アートコンテスト応募作品)



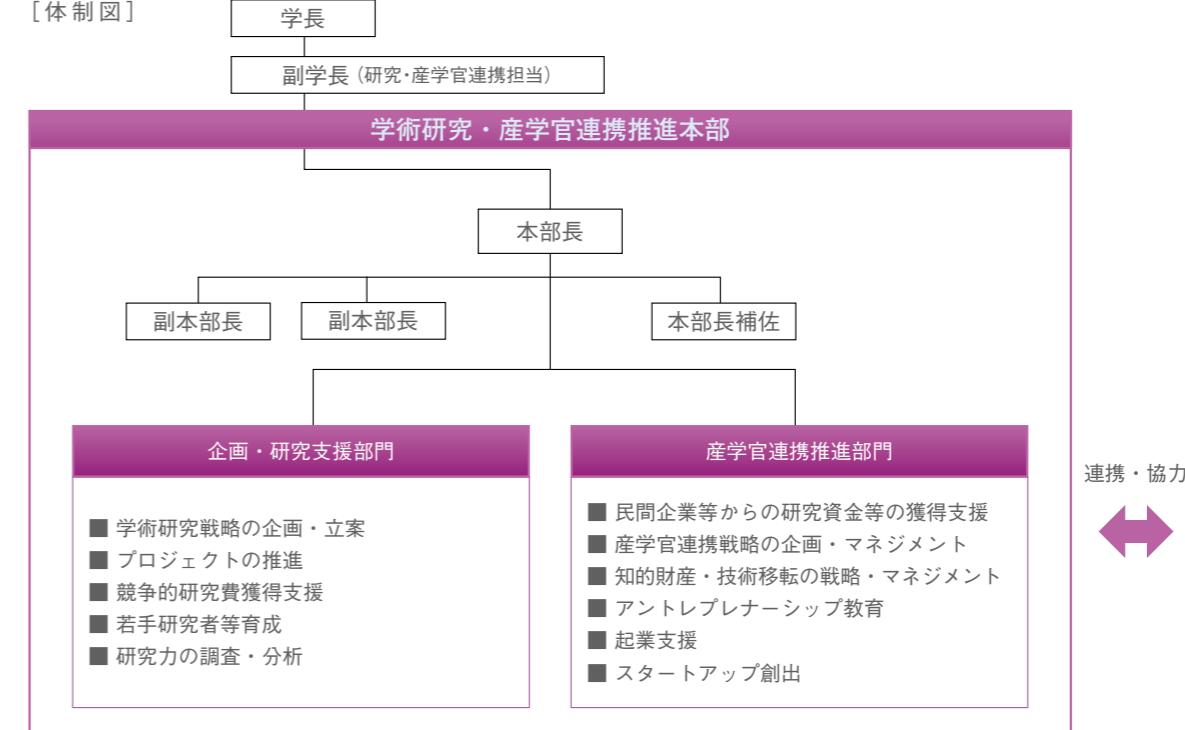
岐阜大学での練習(第1回岐阜大学フォト&アートコンテスト応募作品)

研究 Research

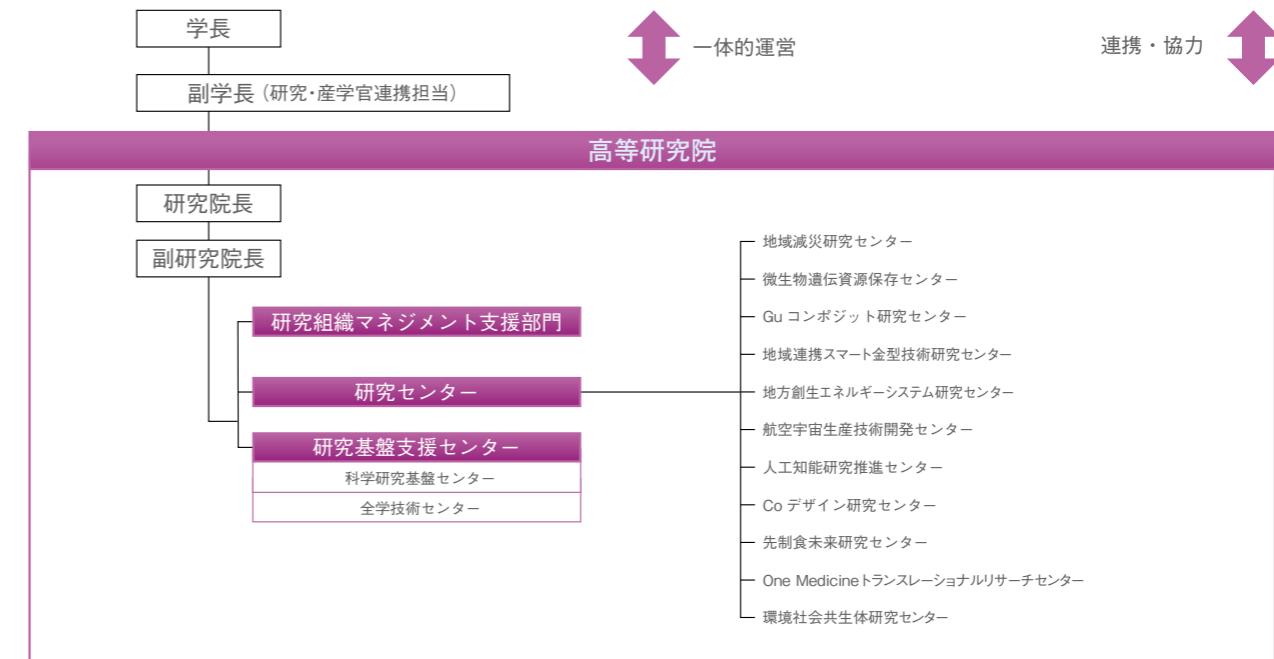
究める岐阜大学

■ 学術研究・产学官連携推進本部

[体制図]



■ 高等研究院



連携・協力



連携・協力



本学本部・各部局

■ 連携拠点支援事業

岐阜大学と名古屋大学が、その特徴や強みを活かした連携によりシナジー効果を最大限発揮し「特定の領域において世界と伍する研究拠点又は全国トップレベルの研究拠点を目指す拠点」あるいは「T-PRACTISSに大きく貢献する拠点」として、東海国立大学機構が認定し支援している。

※東海国立大学機構を中心とする大学連合体を起点として、東海地域において、ダイナミックに循環する価値創造の流れを創出するモデルを「T-PRACTISS」と位置づけています。

T-PRACTISS : T=THERS (Tokai National Higher Education and Research System)
PRACTISS=Project to Renovate Area Chubu into Tech Innovation Smart Society

糖鎖生命コア研究拠点 (iGCORE)

生命活動に欠かせない第3の生命鎖「糖鎖」。糖鎖の構造と機能を解き明かす、世界トップクラスの統合糖鎖研究所である。



本研究拠点は、岐阜大学の糖鎖化学分野・糖鎖イメージング分野と名古屋大学の糖鎖生物学分野・糖鎖医学分野の世界トップレベルの研究者が集結した世界で無二の統合的糖鎖拠点である。核酸、タンパク質に続く第3の生命鎖である糖鎖の統合的研究により新たな生命原理の解明、個別予防や未病検知といった医療革新につながる基礎研究を推進するため、機構内の研究力を結集し、国際的な研究戦略のもとに世界でのリーダーシップを発揮する。

航空宇宙研究教育拠点

航空宇宙の設計技術と生産技術に関する科学的・体系的な教育・研究開発を行う国内初の拠点である。



本拠点では、急速な技術進化と社会の要請に応えるため、航空宇宙関連企業と連携し、生産技術が理解できる「設計技術者」および設計技術が理解できる「生産技術者」の育成を目指す設計と生産を統合した人材育成プログラムを整備している。また、モビリティ、電動化、新材料など幅広い分野の研究成果を活かし、次世代の航空宇宙機開発につながる学術研究や応用開発を推進するとともに、航空宇宙産業の抜本的な生産性向上のため、大学・企業の研究者が協働で情報学と工学を融合させる「サイバー・フィジカル工場」の実現に向けた研究開発を進め、世界をリードする技術開発と社会課題の解決に貢献する。

健康医療ライフデザイン統合研究教育拠点

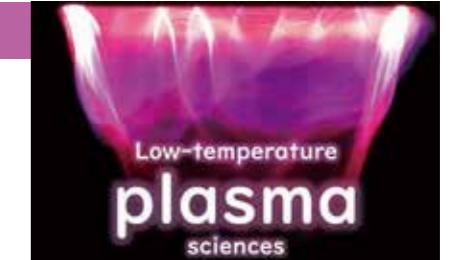
信頼性の高い健康医療情報の創出とデータ駆動型事業の実践を通して、Well-beingになる健康医療社会の創成とSDGs、Society5.0の実現を目的とした拠点である。



本拠点では、エビデンスが確保された、信頼性の高い健康医療情報を創出して、健康医療に関する社会的課題を持続的に解決できる体制を構築し、成果を発信し続けるデータ駆動型事業の実践を通して、Well-beingになる健康医療社会の創成とSociety5.0、SDGsの実現につなげることを目指している。また、信頼できる健康医療データ基礎を構築し、英語の「Life」にある3つの意味、「いのち」、「生活」、「人生」のそれぞれを対象にデザインした研究教育を統合的に行うことで、社会的課題を解決して人と社会に貢献する。

低温プラズマ総合科学研究拠点

低温プラズマは我が国のモノづくりの生命線。異分野融合の共同利用・共同研究を推進して、イノベーションを興す世界最高峰の研究を行う拠点である。



本拠点では、岐阜大学工学部附属プラズマ応用研究センターと名古屋大学低温プラズマ科学研究センターの強みを相乗的に活かし、国内外の研究者との多様な共同利用・共同研究を推進する。カーボンニュートラルの実現や、世界的食糧問題の解決を目指す破壊的イノベーションを達成するために、低温プラズマを中心に据える多様な学問領域の境界を越える学融合領域によって、低温プラズマの新価値創成を進めていく。

One Medicine 創薬シーズ開発・育成研究教育拠点

「One Medicine (ヒトと動物の疾病は共通)」の視座にたち、医学、獣医学、薬学、工学等の研究者が分野横断的に連携し、創薬シーズ開発研究を行う拠点である。



本拠点では、比較医学に基づくオーダーメイド型疾患モデル動物を強みとして、構造生物学や細胞・再生医学、マルチオミクス解析、インフォマティクスにもとづき核酸から蛋白質、細胞、人工マテリアルまで多様なモダリティによる創薬シーズを開発・育成し、量子技術、AIを駆使した先端医療機器を組み合わせることで、臨床Proof of Concept (POC) 取得成功率の高い有望な創薬シーズを高度に選別し、非臨床試験、治験につなげる研究拠点として、新たな創薬研究の先導を目指す。

量子フロンティア産業創出拠点

独自の「化学の観点」を組み入れた量子技術により、化学・電子材料、電子機器、医療診断・治療を革新し、量子技術の社会実装を目指す拠点である。



本拠点では、医療も含めた量子技術の産業への利活用に向けて、岐阜大学が活発に進めてきた量子技術を用いた次世代MRI技術である超偏極MRIの医療応用及び名古屋大学の強みのひとつである「化学」の観点による量子技術の社会実装を目指す。それぞれの大学が独自で推進してきた2つの研究活動について、両大学間で強く連携を図り、原子・分子レベルで量子状態を制御して医療及び産業への利活用を促進する「量子フロンティア産業創出拠点」を形成し、量子研究の産業応用の加速や新たな研究展開・新産業創出を推進する。

特色ある研究の取り組み

研究所

糖鎖生命コア研究所（2021年1月設置）

本研究所は、糖鎖生命コア研究拠点の研究戦略に基づき、糖鎖研究を行うための組織として名古屋大学と共同で設置した。糖鎖生物学・医学と糖鎖分子科学（化学、生化学、生物物理学、分析化学、数理）のトップランナーが集結した日本で最大の糖鎖研究に特化した研究所である。異分野の糖鎖研究を融合することにより、生命の本質・原理（コア）を1分子レベルから個体レベルまでのマルチスケールの研究で明らかにすることを目的とする。研究所の主幹事業として自然科学研究機構及び創価大学と共に実施している大規模糖鎖研究プロジェクト「ヒューマングライコームプロジェクト（Human Glycome Atlas Project : HGA）」は、令和5年度から生命科学領域において初の文部科学省「大規模学術フロンティア促進事業」として推進されている。さらに、令和4年度より文部科学大臣認定の共同利用・共同研究拠点「糖鎖生命科学連携ネットワーク型拠点（J-GlycoNet）」の中核拠点として国内外での異分野融合を推進し、糖鎖研究を先導する国際拠点としての基盤を確立する。

研究センター

地域減災研究センター（2015年4月設置）

岐阜大学の防災・減災に関する研究シーズや高度な専門知識に基づいた「知の拠点」として地域のシンクタンク機能を担い、これによって、地域のニーズに応えて防災・減災力を強化することを目指したセンターである。具体的には、防災・減災に関する学術的・実践的な調査研究を推進するとともに、地域防災力向上のための新たな仕組み・事業を提案している。さらに、実効性の高い灾害対策を策定・推進するため、専門的知見に基づいて政策決定支援・技術支援・地域課題解決支援を行っている。

【部門】減災技術開発部門、災害医療部門、減災社会推進部門

微生物遺伝資源保存センター（2016年4月設置）

国としても重要な微生物遺伝資源である病原微生物株の保存センター。病原細菌の網羅的なコレクションを維持している。維持管理だけでなく、分譲可能な保有微生物株及び付随する遺伝情報については分譲もおこなう。これらの業務を通して社会のニーズに即した研究及び産業応用に資する微生物遺伝資源の利用促進を図り、社会に貢献することを目的としている。貴重な微生物株については、寄託も受け付けている。

【業務】系統収集・維持・分譲

Guコンポジット研究センター（2018年4月設置）

ものづくり分野の研究センターとして、分子の集合体から纖維と樹脂の複合体まで、マルチスケールに複合材料を研究している。物質化学、生命化学、機械工学から医学に至る複合領域体制により、テラードマテリアル&デザインによる少量多品種のものづくりを確立し、航空機、自動車などの軽量部材にとどまらず、人体と関わる複合材料の開発を進めている。また、東海北陸地区の複合材料3センターのひとつとして、地域産業との協力体制を推進すると同時に、グローバルな展開を目指している。

【領域】バリアフリー・マテリアル領域、ヒューマンコンポジット領域、コンポジットリサイクル領域

地域連携スマート金型技術研究センター（2018年4月設置）

岐阜大学のものづくり分野に関する研究力を、AIとIoT分野の研究力でさらに強化し、スマート金型に代表される生産技術開発、高信頼性設計技術や3D造形技術の開発および人材育成で、我が国のあらゆる製造企業の国際競争力向上に貢献することを目的としている。

【部門】データ解析技術研究部門、加工技術研究部門、設計技術研究部門、3D造形技術研究部門、人材育成部門、地域連携部門

地方創生エネルギーシステム研究センター（2018年4月設置）

再生可能エネルギー利用によるCO₂フリーエネルギーを「つくる」、「ためる」、「はこぶ」、「つかう」革新的コア技術を基盤に、「地産地消型地域エネルギーシステム」（地方創生モデル）を産官学連携して社会実装を図る。このモデルを実現するため、再生可能エネルギー高効率利用およびカーボンリサイクルなどの革新的要素技術を個別にブレークスルーするだけでなく、電動車両によるバーチャルグリッドエネルギー・システムや自立分散型エネルギー・システムを統合したカーボンニュートラルエネルギー・システムの構築を目指す。

【分野】エネルギー創造分野、キャリア・ストレージ分野、新産業創出分野、エネルギー・システム統合分野

航空宇宙生産技術開発センター（2019年4月設置）

航空宇宙研究教育拠点で実施しているプロジェクト「航空宇宙生産技術開発センター」を核とした地域における知・人材の集積・定着」を推進し、生産システムアーキテクトの育成及び最先端の生産技術に関する革新的な研究開発を行う。

人工知能研究推進センター（2019年4月設置）

最先端の人工知能、IoT、データ科学の周辺研究を推進とともに、学部間を横断する研究組織形成の窓口として、新たな人工知能の応用研究を開拓し、本学の強み研究を加速させることを目的とする。そのため、全学の教員、学生に対して人工知能の最新技術に関する勉強会や研究会を開催し、様々な研究分野の研究者がAIを利用できるような環境を構築する。さらに、地域企業との共同研究支援、地域産業への最新技術やAI技術者の供給拠点となることを目指している。

【部門】教育部門、研究部門、共同研究推進部門

Coデザイン研究センター（2020年4月設置）

地域価値を高め、人々の生活を豊かにする地域づくりシンクタンクとして、ひと・まち・かの望ましいシステムを学際的に探究し、産官学が協働して活力ある持続可能な社会の実現を図る。経験価値を創出するデザイン主導のアプローチとともに、都市計画、総合防災、景観デザイン、都市形成史、資源利用、ニーズ評価、商品開発、経済効果計測、意識構造分析、人材育成・教育効果の分析等のデータ主導のアプローチを併せた総合企画・総合政策を共創し、ニーズの抽出から目的の達成・効果の検証まで共にデザイン研究する。

【分野】ひとデザイン分野、まちデザイン分野、かのデザイン分野

先制食未来研究センター（2022年4月設置）

日本の高齢化率をふまえた健康寿命の延伸を課題とし、生活習慣病やフレイル、認知症といった疾病的発症・重症化予防に資する「食」を明らかにすることを目的とする。これにより、「ガストロノミーマニフェスト（食革新）」を策定し、その実践を通して、健康寿命の延伸に寄与する「人類の食の未来ビジョン」を提案することを目指す。

【部門】食未来研究部門、地域コホート研究部門、先制食研究部門

One Medicineトランスレーショナルリサーチセンター（2023年1月設置）

「ヒトと動物の疾患は共通」、すなわち「One Medicine」の視座にたち、医学・獣医学の境界を越えた新たな学際領域を開拓する。そして、医学、獣医学、薬学、工学等の研究者が分野横断的かつ国内外で施設横断的に連携し、有望な創薬シーズを高度に選別し、治験につなげることでヒトと動物の創薬研究を変革する。

「One Medicine」の視座のもと国際的にわが国が後れをとる医薬品開発の成功率を高めるだけでなく、「Sharing Medicine（人獣共通医療学）」という新たな学術領域を開拓する。

【部門・室】動物医科学研究開発部門、データサイエンス部門、革新的モダリティ創出部門、先端医療機器開発部門、リサーチマネジメント室

環境社会共生体研究センター（2024年4月設置）

環境問題や自然資源に関する基礎的な研究から、気候変動への適応やカーボンニュートラル課題に関する応用研究まで一貫して実施するミッションを地域や国内外のステークホルダーとも連携しながら高度なレベルで早期に実現することを目的とする。

【領域・支援室】環境資源研究領域、環境変動適応研究領域、社会システム研究領域、脱炭素・環境エネルギー研究連携支援室

研究基盤支援センター

科学研究基盤センター（2018年4月設置）

生命科学総合実験センターの名称で2003年4月に設置された全学の共同教育研究基盤施設。個々の研究室では導入・維持・整備が困難な高額・大型機器を効率的に提供し、一部受託解析も行うことにより、生命科学に関連する先進的分野の教育研究支援を行うとともに、法令遵守のもと維持・管理に労力を要する実験動物飼育、嫌気性菌株保存、放射性同位元素（RI）使用の各施設を提供し、本学における教育研究の総合的推進を図ることを目的としている。

【分野】ゲノム研究分野・嫌気性菌研究分野・動物実験分野・機器分析分野・RI実験分野

【共同研究講座】抗酸化研究部門

全学技術センター（2020年4月設置）

教育及び研究に対する技術的な支援並びに技術職員の能力等の向上及び技術の継承を行うことにより、本学の教育及び研究の発展に寄与することを目的とする。また、東海国立大学機構内で名古屋大学全学技術センターと連携した組織として設置された統括技術センターを兼務して、コアファシリティを推進することにより、高度な教育・研究環境の提供と地域貢献を行う。

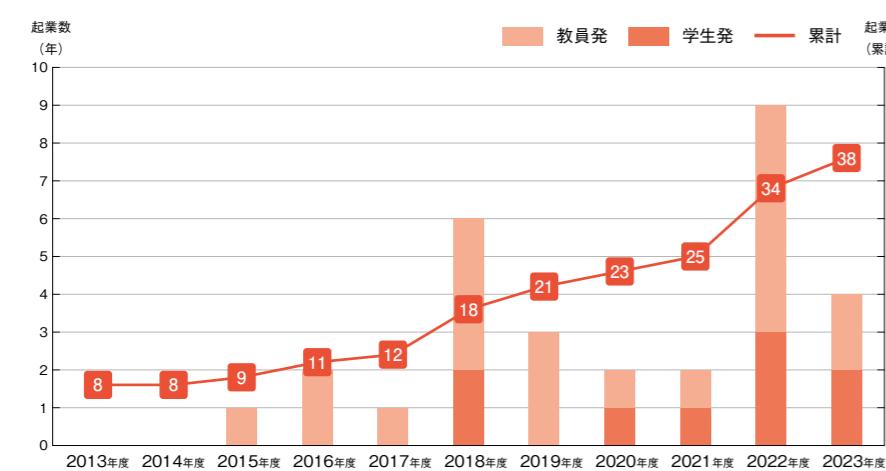
■ 科学研究費助成事業

科学研究費補助金・学術研究助成基金助成金(令和5年度受入実績)

研究種目	件数	直接経費(千円)	間接経費(千円)	部局別件数																				
				教育学部	地域科学部	医学部	医学系研究科	医学部附属病院	工学部	応用生物科学部	社会システム経営学環	共同獣医学研究科	連合農学研究科	連合創薬医療情報研究科	地域協学センター	保健管理センター	グローバル推進機構	糖鎖生命コア研究所						
新学術領域研究	2	6,000	1,800			1		1																
学術変革領域研究(A)	2	5,600	1,680			1																	1	
基盤研究(A)	10	80,800	24,240	2					3	1	1	1	1										1	
基盤研究(B)	51	219,100	65,730	2		12	22	12								1		1					1	
基盤研究(C)	231	222,400	66,705	34	6	13	39	30	51	32	6				2	5	3	1	2	2	2	5		
挑戦的研究(開拓)	3	15,500	4,650						1	1						1								
挑戦的研究(萌芽)	10	20,300	6,090	1		3	1	3								1			1					
若手研究	64	72,200	21,660	3	3	20	12	8	9						1	2	1		1	2		2		
研究活動スタート支援	6	6,200	1,860				1	2							1		1		1					
奨励研究	1	480	0					1																
特別研究員奨励費(国内)	8	7,400	330						1		1	6												
特別研究員奨励費(海外)	2	1,700	0							1						1								
国際共同研究強化(B) 海外連携研究	6	20,100	6,030	1		1		1	1						1	1								
総計	396	677,780	200,775	43	9	13	77	44	87	63	6	1	7	2	3	10	6	3	2	1	7	0	2	10

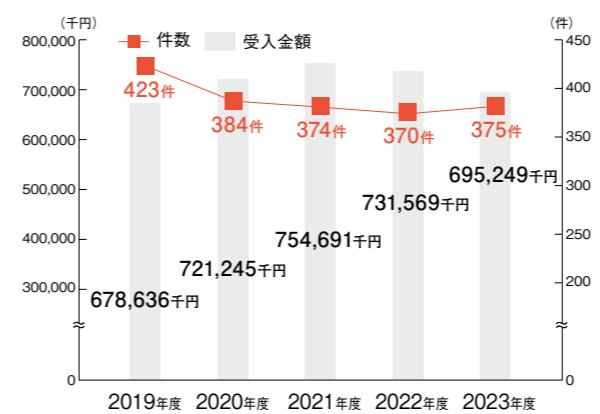
※令和5年度交付内定金額

■ 岐阜大学発ベンチャーアイデア数の推移

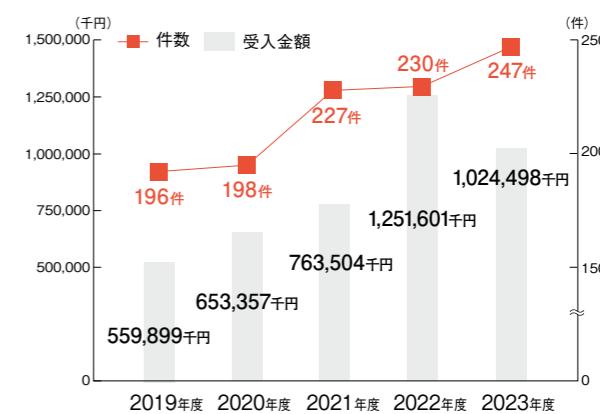


■ 共同研究・受託研究

共同研究



受託研究

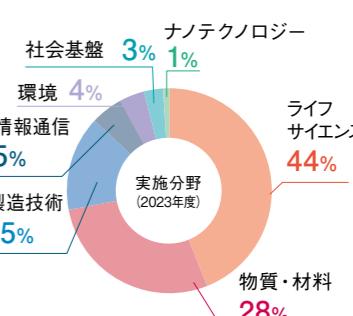
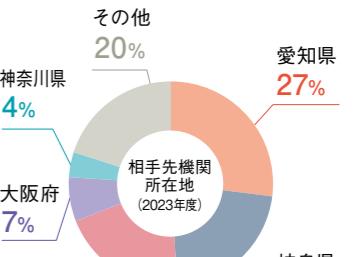


共同研究・受託研究部局別受入実績

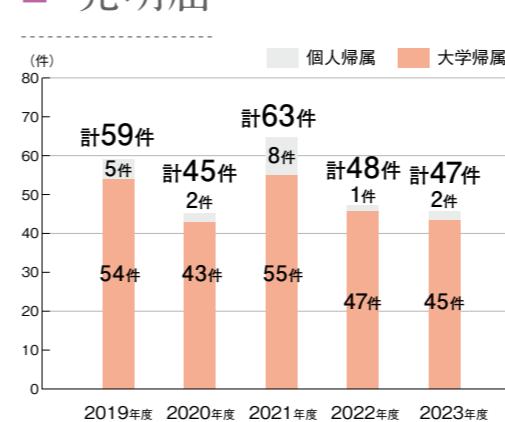
部局	共同研究		受託研究	
	受入件数	受入金額	受入件数	受入金額
教育学部	6	14,809	1	300
地域科学部	1	0	0	0
医学系研究科・医学部	20	99,214	37	138,087
医学部附属病院	17	7,072	109	60,651
工学部	154	254,074	42	396,710
応用生物科学部	79	83,180	21	143,155
社会システム経営学環	1	0	0	0
連合獣医学研究科	0	0	3	8,200
連合農学研究科	7	7,245	0	0
高等研究院	61	152,607	16	153,116
航空宇宙生産技術開発センター	7	32,868	0	0
糖鎖生命コア研究所	3	17,545	8	87,815
地域協学センター	0	0	3	900
流域圏科学研究センター	10	5,915	5	10,453
学術研究・産学官連携推進本部	0	0	0	0
情報連携推進本部	1	0	0	0
合計	375	695,249	247	1,024,498

複数部局での合同契約については、受入金額の多い部局で1件として計上されるため、0件になる場合がある。

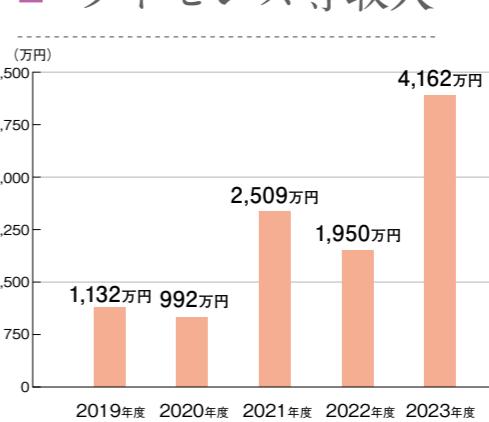
共同研究実績



■ 発明届



■ ライセンス等収入



社会連携 For society

貢献する岐阜大学

■ 地域連携

地方自治体との協定締結

本学は、地域社会の発展と人材育成に寄与することを目的に、地方自治体と連携に関する協定を締結して、多様な分野で連携活動を積極的に進めている。

包括連携協定

自治体等	締結日	主な連携活動*
大垣市	2006.3.31	ものづくり岐阜テクノフェアの開催
各務原市 各務原商工会議所	2007.10.10	宇宙工学講座の実施
羽島市	2008.2.26	地域リーダー実践（上級）（次世代地域リーダー育成プログラム上級段階科目）の実施 羽島市政策参事への統括事業推進コーディネーターの委嘱 市職員への地域コーディネーターの委嘱
岐阜県	2008.3.28	岐阜県・国立大学法人岐阜大学連携推進会議の実施 産学金官連携人材育成・定着プロジェクトの実施 自治体協働型インターンシップの実施 県職員への地域コーディネーターの委嘱
関市	2008.9.16	サマースクール（COC+事業の参加大学共通プログラム）の実施
美濃市	2008.12.17	サマースクール（COC+事業の参加大学共通プログラム）の実施
岐阜市	2009.2.27	地域コーディネーター研修プログラムによる市職員の受け入れ
高山市	2009.4.17	市職員への地域コーディネーターの委嘱
御嵩町	2009.10.28	低炭素のまちづくり（太陽光発電の利活用など）への協力
郡上市	2012.3.19	地域リーダー実践（上級）（次世代地域リーダー育成プログラム上級段階科目）の実施 サマースクール（COC+事業の参加大学共通プログラム）の実施 市職員への地域コーディネーターの委嘱
美濃加茂市	2015.9.18	ヤギによる緑地再生共同研究
北方町	2015.11.20	教育、文化及びスポーツの振興に関する事業の実施
中津川市	2015.12.15	地域リーダー実践（上級）（次世代地域リーダー育成プログラム上級段階科目）の実施 市職員への地域コーディネーターの委嘱
揖斐川町	2016.1.19	揖斐川町小津地区の活性化支援
岐南町	2016.1.29	町職員への地域コーディネーターの委嘱
本巣市	2016.5.27	人材の育成に関する事業の実施
山県市	2016.7.1	地域学校協働活動の推進
土岐市	2016.8.2	地域リーダー実践（上級）（次世代地域リーダー育成プログラム上級段階科目）の実施
養老町	2016.10.14	生涯学習基本構想作成支援
八百津町	2016.12.1	八百津町山村エリアの活性化支援
笠松町	2017.4.17	笠松歴史未来会館へ多面体づくり出展
下呂市	2017.11.24	地域療育システム事業への協力
白川村	2018.1.22	白川郷学園の学力向上に向けた連携
多治見市	2018.10.9	多治見市ながせ商店街の活性化支援
海津市	2019.3.4	教育、文化の振興に関する事業の実施
瑞穂市	2019.12.24	人材育成及び地域の活性化に関する事業の実施
飛騨市	2020.2.28	サマースクール（COC+事業の参加大学共通プログラム）の実施
瑞浪市	2020.3.10	地域の活性化に関する事業の実施
輪之内町	2021.10.22	防災及び環境施策の支援・助言
大野町	2022.6.29	小中学校の適正規模・適正配置に関する検討
坂祝町	2022.10.5	コミュニティ・スクールへの助言、評価、指導
関ケ原町	2022.10.31	関ケ原診療所を中心とした地域医療の確保
安八町	2023.10.31	公共交通に関する指導・助言
垂井町	2023.12.12	運動公園に関する指導・助言
神戸町	2024.1.22	町職員への地域コーディネーター委嘱
池田町	2024.2.13	イベント開催にともなう学生参加
白川町	2024.3.14	住環境に関する受託研究、地域学校協働活動の促進に係る支援
川辺町	2024.3.26	防災及びまちづくり、小学校再編に係る支援・指導
恵那市	2024.4.11	まちなかオーブンカレッジの実施

*ここに挙げる活動の他、各種審議会、委員会等の委員への就任及び各種研修講師として本学教員が多数協力している。

包括連携協定後の個別締結

自治体等	締結日	主な連携活動*
揖斐川町	2024.2.26	岐大生住んでみようプロジェクト

主な連携活動*

地域連携事業の推進

2014年度からは、大学 COC 事業の一環として、学際的に複数の学問の「協働」、分野・部局横断的な連携の強化、自治体・NPO団体・地域団体・民間事業者等との「協学」を進めながら、地域の課題解決に貢献する積極的な取り組みを「地域志向学研究」として位置付け推進している。

○岐阜県と共同で「ぎふ地域学校協働活動センター」を設置

■ 公開講座

公開講座

本学は、教育研究の成果を広く社会に開放し、地域社会の教育文化の向上に資することを目的に、各学部及びセンターが様々な内容の公開講座を実施している。また、小・中・高校生を対象とした講座では、公開講座のほかに、ものづくり講座などの体験講座を開催している。2023年度の開講数は次のとおりである。

- 一般市民・社会人を対象とした公開講座 10講座
- 小・中・高校生を対象とした公開講座 27講座

■ シンポジウム・フォーラム



岐阜大学シンポジウム

本学は、地域の知の拠点として、大学の取り組み及びその成果について、岐阜大学の研究成果とともに最新の情報を社会に発信するため、講演会を開催している。

岐阜大学フォーラム

大学を活性化するため、優れた学問を発展させてきた一流の研究者による講演会を開催している。

■ 市民大学講座

岐阜大学シティカレッジプログラム

本学は、「ぎふ中日文化センター」において、提携講座「岐阜大学シティカレッジプログラム」を開催している。この講座は、本学と中日新聞社が共同で行う「市民大学講座」で、本学の教員が社会や暮らしに密着したテーマを取り上げ、楽しく分かりやすく講義している。

■ 高大連携

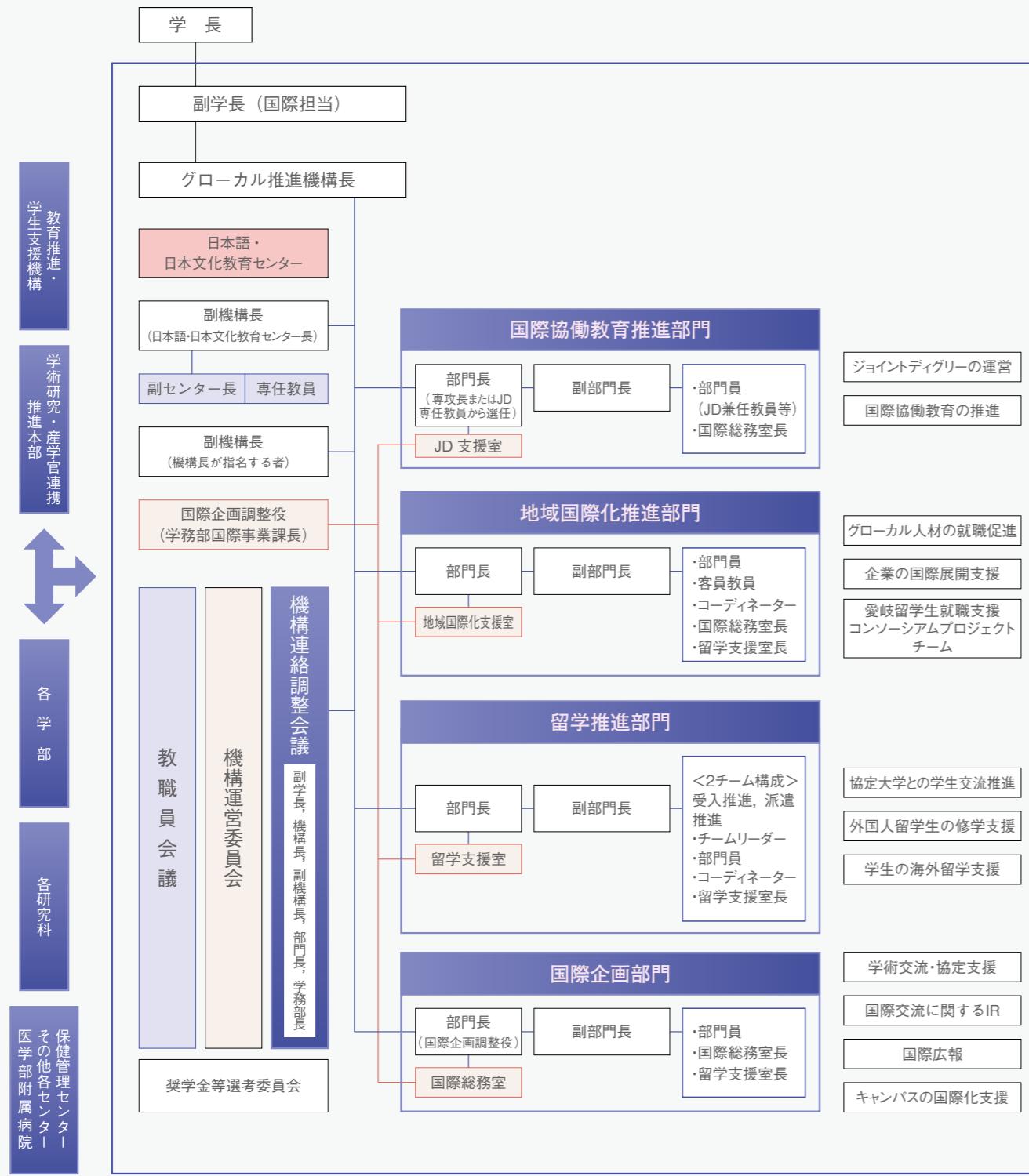
本学は、地元を中心とした高等学校との連携を図り、高校生が様々な研究分野への理解を深め、学問への動機づけや学習意欲の喚起を目的とした事業の実施及び高等学校関係者との意見交換等を通じて高校・大学相互に教育の現状理解を深めるための活動を行っている。

(2023年度実績)

- 高等学校への出前講義 75講座
(2023年度の開設数は、人文科学30、社会科学15、理学31、応用科学96、医療・福祉37、総合22、計231講座である。)
- ネットワーク大学コンソーシアム岐阜（高大連携・情報発信部会）
 - ・第1回高大連携セミナー（2023年11月10日開催）
- 宇宙工学講座
 - 参加者：県内高校・高等専門学校17校・89人
 - 開講式（2023年6月25日開催）
 - 講座全9回+見学ツアー（2023年7月12日～11月15日開催）
 - 閉講式（2023年12月16日開催）
- スーパーハイスクールセッション
 - 参加者：県内高校16校・43人
 - 第1回 グループワーク（2023年6月18日開催）
 - 第2回 グループワーク（2023年7月16日開催）
 - 第3回 成果発表会（2023年9月9日開催）

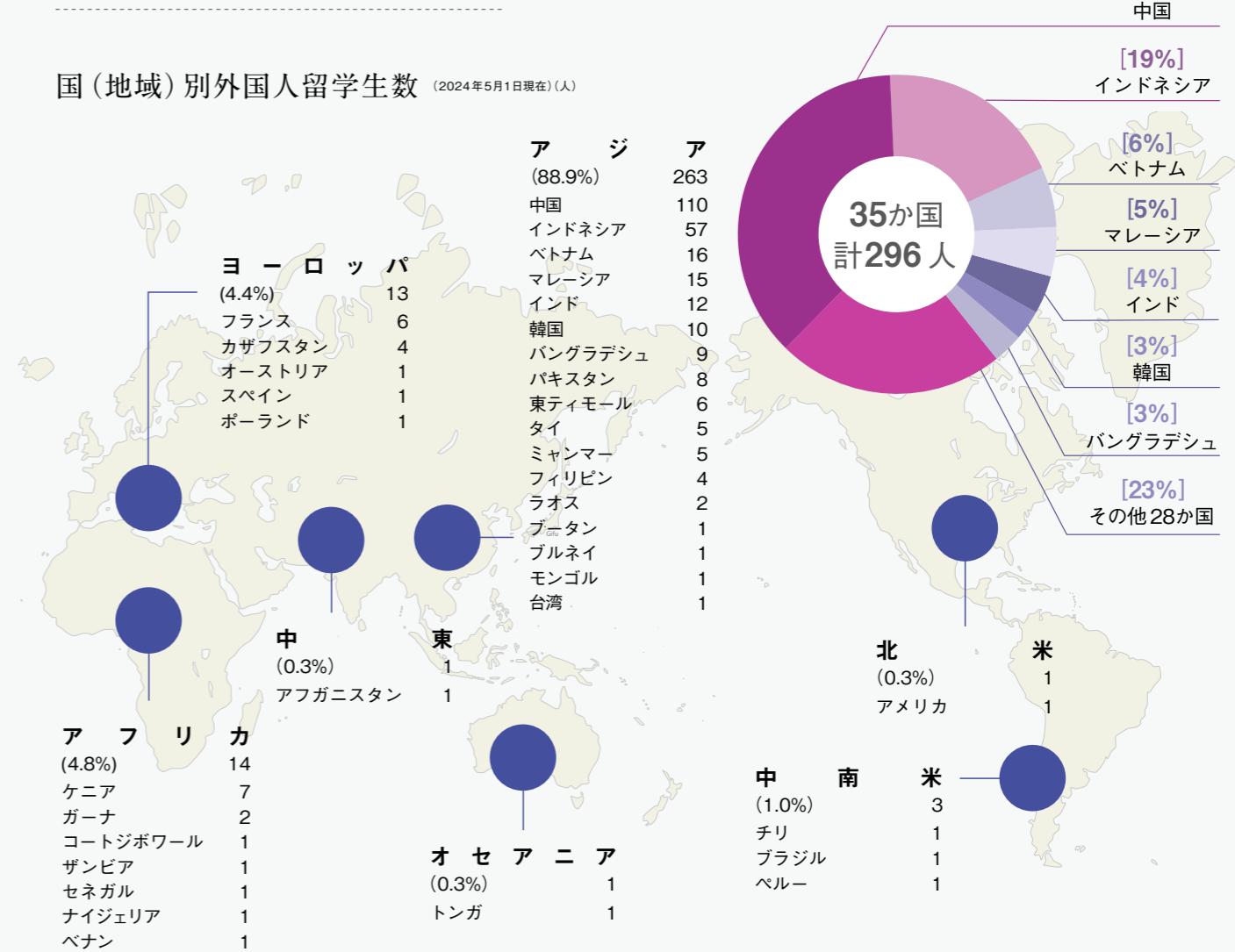
■ グローカル推進機構 (Gifu University Organization for Promotion of Glocalization : GU-GLOCAL)

[体制図]

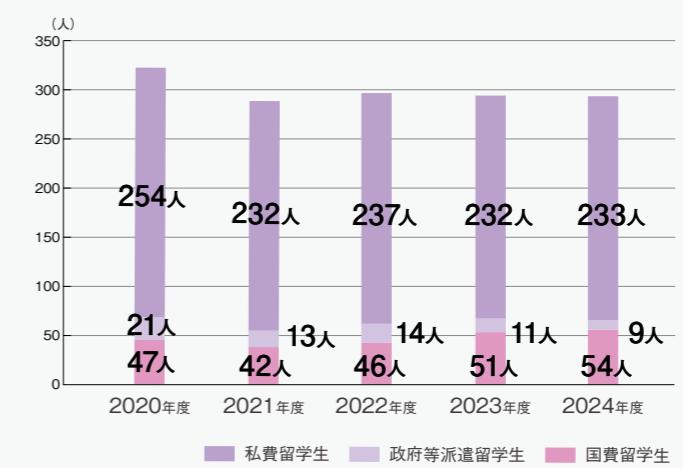


■ 留学生受入・派遣状況

国(地域)別外国人留学生数 (2024年5月1日現在)(人)



外国人留学生受け入れ数の推移 (各年5月1日時点)



交換留学

国名	大学名	派遣年度				受入年度				(人)
		2020	2021	2022	2023	2020	2021	2022	2023	
中国	廣西大学							1	1	
	電子科技大学					1 (オンライン)		1	2	
	華僑大学							3	3	
	江南大学								2	
	吉林大学					2 (うち1名オンライン)	3	1		
	同濟大学				1					
	内蒙古師範大学								2	
韓国	ソウル科学技術大学校									2
	高麗大学校		1							
	木浦大学								1	
タイ	カセサート大学									1
マレーシア	マレーシア国民大学			1						1
エジプト	ベンハーレ大学									2
オーストラリア	シドニー工科大学			3	1					
	グリフィス大学				1					
ドイツ	エルフルト大学		2							
スペイン	サラマンカ大学						1	1		
米国	ノーザンケンタッキー大学		2	2	2					2
	サンディエゴ州立大学		1	1	1					
	ユタ州立大学				1					
カナダ	レイクヘッド大学			1						
フランス	リール大学					3	7	4		
合計		0	6	8	7	1	5	16	25	

夏期短期留学(サマースクール)

国名	大学名	派遣年度				受入年度				(人)
		2020	2021 (オンライン)	2022	2023	2020	2021 (オンライン)	2022	2023	
韓国	ソウル科学技術大学校		2							
オーストラリア	グリフィス大学		3	31	37					
米国	ノーザンケンタッキー大学									
カナダ	アルバータ大学		22	6	10					
中国	廣西大学									
マレーシア	マレーシア国民大学					4		1		
合計			27	37	47		5		7	

※ 2020年度の派遣・受入および2022年度の受入は、新型コロナウイルス感染症に起因し中止。

学術交流協定締結大学等一覧

大学間協定(19か国49大学)

機関名	国名	協定締結日
カンピーナス大学	ブルジル	1984.8.27
サンディエゴ州立大学	米国	1985.5.7
浙江大学	中国	1986.4.21
廣西大学	中国	1986.4.24
電子科技大学	中国	1986.7.21
江南大学	中国	1986.9.3
ノーザンケンタッキー大学	米国	1990.9.26
ソウル科学技術大学校	韓国	1992.3.19
グリフィス大学	オーストラリア	1995.3.3
ユタ州立大学	米国	1997.5.29
ハノイ工科大学	ベトナム	1998.6.26
カセサート大学	タイ	1999.8.5
内蒙ゴ農業大学	中国	2000.8.8
シドニー工科大学	オーストラリア	2000.8.14
パンノン大学	ハンガリー	2001.3.2
アンダラス大学	インドネシア	2001.4.23
バングラデシュ農業大学	バングラデシュ	2001.8.23
エルフルト大学	ドイツ	2002.12.4
吉林大学	中国	2003.5.20
チェンマイ大学	タイ	2003.8.4
ダッカ大学	バングラデシュ	2004.6.17
キングモンクット工科大学トンブリ校	タイ	2005.1.10
華僑大学	中国	2005.3.29
同濟大学	中国	2006.3.16
ランボン大学	インドネシア	2006.4.25

2024年5月1日現在

機関名	国名	協定締結日
内蒙ゴ大学	中国	2007.2.6
バイロイト大学	ドイツ	2008.8.22
ベンハーレ大学	エジプト	2009.3.18
高麗大学校	韓国	2010.1.15
カウナス工科大学	リトアニア	2010.3.8
ボゴール農科大学	インドネシア	2010.12.2
内蒙ゴ師範大学	中国	2011.6.8
ヴィータウタス・マグヌス大学	リトアニア	2012.1.19
ガジャマダ大学	インドネシア	2012.9.13
スプラス・マレット大学	インドネシア	2013.7.8
バリ・サクレー大学	フランス	2014.12.16
インド工科大学グワハティ校	インド	2014.9.21
マレーシア国民大学	マレーシア	2016.9.21
マギル大学	カナダ	2017.3.8
アルバータ大学	カナダ	2017.3.21
レイクヘッド大学	カナダ	2017.10.11
マリアノ・マルコス州立大学	フィリピン	2018.9.10
フェ大学	ベトナム	2018.11.12
アッサム大学	インド	2018.11.20
サラマンカ大学	スペイン	2018.11.26
リール大学	フランス	2020.4.2
南フロリダ大学	米国	2020.12.15
ブラヴィジャヤ大学	インドネシア	2021.2.23
バンドン工科大学	インドネシア	2022.9.26

部局間協定

機関名	国名	協定締結日	協定部局
チュラロンコン大学 理学部	タイ	1994.3.15	応用生物科学部
コンケン大学 農学部	タイ	2000.3.27	応用生物科学部
コンケン大学 学部間共同開発研究所	タイ	2000.3.27	応用生物科学部
浙江大学 医学院	中国	2000.12.4	医学部
コンケン大学 医学部	タイ	2000.12.18	医学部
国立全南大学校 工学部	韓国	2002.2.6	工学部
中国科学院水利部水土保持研究所	中国	2008.8.12	インフラマネジメント技術研究センター
国立歯科医学研究所	韓国	2008.11.4	応用生物科学部
忠北大学校 医学部	韓国	2009.4.17	医学部
中国水利水电科学研究院岩土工程研究所	中国	2009.7.24	インフラマネジメント技術研究センター
カフル・エル・シェイク大学 獣医学部	エジプト	2009.11.15	連合創薬医療情報研究科
柳韓大学校 工学系	韓国	2010.9.29	工学部
ベンガル大学 数学自然科学部	インドネシア	2011.7.20	工学部
サー・バラシラム・カレッジ	インド	2012.9.17	工学部
モンゴル国立大学 地理地質学部	モンゴル	2012.10.29	応用生物科学部
チュラロンコン大学 理学部	タイ	2012.12.6	連合農業研究科
忠南大学校 工学部	韓国	2013.1.18	工学部
マドリード・カルロス三世大学 工学部	スペイン	2013.7.9	工学部
EMC2 クラスター・IRT ジュール・ヴェルヌ	フランス	2014.3.13	複合材料研究センター
ドルトムント工科大学 機械工学部	ドイツ	2014.6.23	工学部
マンダレー大学 自然科学系学部	ミャンマー	2014.8.25	工学部
ヤダナボン大学 自然科学系学部	ミャンマー	2014.12.16	工学部
メティラ大学 自然科学系学部	ミャンマー	2014.12.16	工学部
デダンキマティ工科大学 工学部	ケニア	2014.12.16	工学部
トゥンク・アブドゥル・ラーマン大学 理工学部	マレーシア	2014.12.16	工学部
慶北大学校 工学部	韓国	2015.2.27	工学部
シーナカリニウロート大学 教育学部	タイ	2015.3.17	教育学部
アメリカ国立衛生研究所・国立心肺血液研究所	米国	2015.3.18	工学部
バーデン・ヴュルテンベルク州立太陽エネルギー・水素研究センター	ドイツ	2015.3.20	工学部
アーカンソー大学フォートスマス校	米国	2015.6.8	地域科学部
チュイロイ大学	ベトナム	2015.6.25	連合農業研究科
ブンハッタ大学	インドネシア	2015.7.30	工学部
ガーナ大学 基礎応用科学部	ガーナ	2015.8.20	応用生物科学部
ガーナ大学 基礎応用科学部	ガーナ	2015.8.20	連合獣医学研究科・共同獣医学研究科
バダン州立大学 数学自然科学部	インドネシア	2015.9.18	工学部
カールスルーエ教育大学	ドイツ	2015.10.21	教育学部
クラクフ工科大学 環境電力工学部	ポーランド	2015.11.30	工学部
チュラロンコン大学 理学部	タイ	2015.12.2	工学部
山西師範大学	中国	2015.12.7	教育学部
ハワイ大学 医学部	米国	2016.8.24	医学部
東ティモール国立大学 工学部	東ティモール	2016.8.29	工学部・地方創生エネルギーシステム研究センター
南フロリダ大学 医学学群	米国	2016.10.20	医学部・保健管理センター
ラジャシャヒ大学 農学部	バングラデシュ	2016.12.27	応用生物科学部
南京師範大学 エネルギー機械工学院	中国	2017.7.17	工学部
ダゴン大学 自然科学系学部	ミャンマー	2017.7.21	工学部
南太平洋大学 自然科学・工学・環境学群	フィジー	2017.12.1	応用生物科学部
インドネシア・イスラム大学 土木工学・計画学部、数学・自然科学部	インドネシア	2018.2.23	工学部
ラオス国立大学 林学部	ラオス	2018.3.21	連合農業研究科
カザン連邦大学 環境科学部	ロシア	2018.5.18	応用生物科学部
ブルネイ・ダルサラーム大学 理学部	ブルネイ	2018.6.15	工学部
カザン医学アカデミー	ロシア	2018.12.10	応用生物科学部
ハンガリー科学アカデミー農学研究センター	ハンガリー	2018.12.10	応用生物科学部
ザンビア大学 工学部	ザンビア	2019.1.30	工学部
ソウル大学 医科大学	韓国	2019.4.11	医学部
シカゴ大学 医学部	米国	2019.6.3	医学部
台湾国立高雄科技大学 先端金型研究開発センター	台湾	2019.12.27	地域連携スマート金型技術研究センター
リアオ大学 教員養成・教育学部	インドネシア	2020.3.3	工学部
長庚大学 工学部	台湾	2020.3.18	工学部
タイビン医科大学 医・薬科学技術センター	ベトナム	2020.3.31	科学研究基盤センター
タイビン医科大学 医・薬科学技術センター	ベトナム	2020.3.31	連合創薬医療情報研究科
国立中央大学 文学院	台湾	2021.1.14	地域科学部
タイ国立電子コンピューター技術研究センター	タイ	2023.1.29	工学部
ジョモケニヤッタ農工大学	ケニア	2023.8.1	工学部
キングモンクット工科大学ラカバン校 産業教育学部	タイ	2023.8.9	連合農業研究科

2024年5月1日現在

研究者受入・派遣状況

外国人研究者受入数、来訪者数

2023年度

外国人研究者	10人
外国人来訪者	97人

海外渡航者数

2023年度

出張	377人
研修	20人

*非常勤職員を除く

国際交流会館

施設名	施設の概要		
	宿泊室		その他
国際交流会館 (岐阜市柳戸1番1)	A棟	单身室 31	会議室・研修室、談話室
		夫婦室 2	
		家族室 3	
	B棟	单身室 38	多目的ホール、和室
		夫婦室 12	
		家族室 4	
	C棟	单身室 11	
		夫婦室 2	
		家族室 4	

日本語・日本文化教育センター

外国人留学生への日本語・日本文化に関する教育、日本人学生への国際理解に関する教育を行っている。さらに、全学共通教育における日本人学生と外国人留学生を対象とした異文化交流に関する授業も実施し、留学生交流を中心に大学の国際化に寄与している。

またセンターには、「交流ラウンジ」があり、ラウンジでは外国人留学生と日本人学生との交流や学習、チューターによる学習の支援、留学等の情報収集の場として多様な活動を通じ、本学の国際交流の促進を図っている。



海外オフィス

本学では、外国人学生・研究者との交流の促進を目的として、海外オフィスを設置している。

岐阜大学上海オフィス(中国)

201315 中華人民共和国上海市浦東新区御青路 999-45
電話 : 86-21-58124777
FAX : 86-21-58124778

岐阜大学ダッカ大学内オフィス(バングラデシュ)

University of Dhaka,
Ramna, Dhaka 1000, Bangladesh

岐阜大学スプラス・マレット大学内オフィス(インドネシア)

Sebelas Maret University,
Jalan Ir. Sutami 36A, Surakarta 57126
Indonesia

岐阜大学広西大学内オフィス(中国)

広西大学
中国広西南寧市大学東路 100 号

■ 学長・副学長等一覧

学長・副学長等			
学長			吉田 和弘
副学長（筆頭）（総括・研究・IR・産学官連携・地域創成・スタートアップ・財務担当）			王 志剛
副学長（地域連携（SPARC 等）・総務・人事・ハラスメント・施設担当）			杉山 誠
副学長（企画・評価・情報基盤・DU・法務・公正研究・リスク管理担当）			神原 信志
副学長（教育・学生支援・地域連携（SPARC 等）（副）担当）			益子 典文
副学長（多様性・ジェンダー（男女共同参画）・人権・広報・ブランディング・基金・図書館担当）			大藪 千穂
副学長（国際展開・多様性・ジェンダー（男女共同参画）（副）・図書館（副）担当）			リム リーワ
医学部附属病院長			秋山 治彦
教育研究評議会評議員			
東海国立大学機構長			松尾 清一
大学総括理事（岐阜大学長）			吉田 和弘
副学長（筆頭）（総括・研究・IR・産学官連携・地域創成・スタートアップ・財務担当）			王 志剛
副学長（地域連携（SPARC 等）・総務・人事・ハラスメント・施設担当）			杉山 誠
副学長（企画・評価・情報基盤・DU・法務・公正研究・リスク管理担当）			神原 信志
副学長（教育・学生支援・地域連携（SPARC 等）（副）担当）			益子 典文
副学長（多様性・ジェンダー（男女共同参画）・人権・広報・ブランディング・基金・図書館担当）			大藪 千穂
副学長（国際展開・多様性・ジェンダー（男女共同参画）（副）・図書館（副）担当）			リム リーワ
教育学部長	山田 雅博	教育学部 教授	坂本 一也
地域科学部長	内田 勝	地域科学部 教授	橋本 永貢子
工学部長・自然科学技術研究科長	植松 美彦	医学部 教授	井關 敦子
応用生物科学部長	西津 貴久	工学部 教授	小林 孝一
社会システム経営学環長	三井 栄	応用生物科学部 教授	山田 邦夫
医学系研究科長	山口 瞬	社会システム経営学環 教授	篠田 朝也
共同獣医学研究科長	志水 泰武	医学系研究科 教授	牛越 博昭
連合農学研究科長	平松 研	教育推進・学生支援機構 教授	高橋 周平
連合獣医学研究科長	浅井 鉄夫	学術研究・産学官連携推進本部 教授	矢部 富雄
連合創薬医療情報研究科長	上田 浩	グローカル推進機構 教授	橋本 慎吾
医学部附属病院長	秋山 治彦	医学系研究科 教授	道上 知美
糖鎖生命コア研究所長	門松 健治	応用生物科学部 教授	山本 朱美
地域協学センター長	益川 浩一		
保健管理センター長	山本 真由美		
グローカル推進機構長	小山 博之		

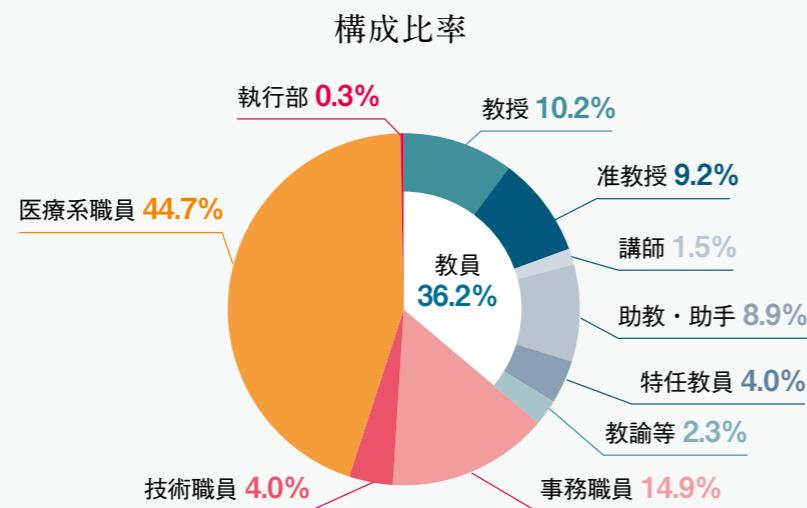
学部長・センター長等			
教育学部			学部長 山田 雅博
地域科学部			副学部長 今村 光章
医学系研究科・医学部			副学部長 杉森 弘幸
医学部附属病院			副学部長 坂本 一也
工学部			附属小中学校統括長 別府 哲
応用生物科学部			附属小中学校長 横山 真一
社会システム経営学環			学部長 内田 勝
教育推進・学生支援機構			副学部長 橋本 永貢子
グローカル推進機構			副学部長 合掌 顕
学術研究・産学官連携推進本部			研究科長（学部長） 山口 瞬
情報連携推進本部			副研究科長（副学部長） 前川 洋一
グローカル推進機構			副研究科長（副学部長） 牛越 博昭
本部長			副学部長 井關 敦子
副学部長			病院長 秋山 治彦
副学部長			副病院長 土井 潔
副学部長			副病院長 清水 雅仁
副学部長			副病院長 古家 琢也
副学部長			副病院長 熊田 恵介
副学部長			副病院長 深尾 亜由美
副学部長			学部長 植松 美彦
副学部長			副学部長 伊藤 貴司
副学部長			副学部長 小林 孝一
副学部長			副学部長 伴 隆幸
副学部長			附属インフラマネジメント技術研究センター長 沢田 和秀
副学部長			附属応用気象研究センター長 吉野 純
副学部長			附属プラズマ応用研究センター長 上坂 裕之
副学部長			附属宇宙研究利用推進センター長 宮坂 武志
副学部長			学部長 西津 貴久
副学部長			副学部長 海野 年弘
副学部長			副学部長 柳瀬 笑子
副学部長			副学部長 山田 邦夫
副学部長			附属岐阜フィールド科学教育研究センター長 大場 伸也
副学部長			附属動物病院長 渡邊 一弘
副学部長			学環長 三井 栄
副学部長			副学環長 篠田 朝也

大 学 院	自然科学技術研究科長 植松 美彦
	共同獣医学研究科長 志水 泰武
	連合農学研究科長 平松 研
	連合獣医学研究科長 浅井 鉄夫
	連合創薬医療情報研究科長 上田 浩
	研究院長 王 志剛
	副研究院長 村岡 裕由
	副研究院長 田中香お里
	副研究院長 二上 英樹
	地域減災研究センター長 小山 真紀
高等研究院	微生物遺伝資源保存センター長 田中香お里
	Guコンポジット研究センター長 仲井 朝美
	地域連携スマート金型技術研究センター長 吉田 佳典
	地方創生エネルギーシステム研究センター長 上宮 成之
	航空宇宙生産技術開発センター長 酒井 昭仁
	人工知能研究推進センター長 加藤 邦人
	Coデザイン研究センター長 三井 栄
	先制食未来研究センター長 矢部 富雄
	One Medicineトランスレーションセンター長 秋山 治彦
	環境社会共生体研究センター長 村岡 裕由
図 書 館	科学研究基盤センター長 二上 英樹
	全学技術センター長 王 志剛
	糖鎖生命コア研究所 研究所長 門松 健治
	地域協学センター センター長 益川 浩一
	保健管理センター センター長 山本真由美
	医学教育共同利用拠点 医学部医学教育開発研究センター長 西城 卓也
	図書館長 大藪 千穂
	医学図書館長 長岡 仁
	機構長 益子 典文
	副機構長 福岡 大輔
教育推進・学生支援機構	副機構長 高橋 周平
	本部長 王 志剛
	副機構長 小山 博之
	情報連携推進本部 本部長 神原 信志

構成員数

部局	執行部	教員							職員			合計
		教授	准教授	講師	助教	助手	特任教員	附属学校教諭	事務	技術	医療	
事務局		7 (2)							164 (74)	19 (3)		190 (79)
教育学部			34 (4)	33 (8)		5 (2)			17 (9)			89 (23)
教育学研究科			4 (1)	4 (0)			3 (0)					11 (1)
教育学部附属小中学校								56 (16)				56 (16)
地域科学部		13 (2)	11 (2)	1 (0)	10 (4)				6 (4)			41 (12)
医学部		8 (4)	10 (9)		14 (13)	1 (1)	3 (2)					36 (29)
医学系研究科		31 (2)	26 (4)	5 (1)	36 (8)		45 (12)		33 (11)	3 (3)		179 (41)
医学部医学教育開発研究センター		2 (0)			1 (0)		1 (1)					4 (1)
医学部附属病院		7 (0)	14 (0)	29 (1)	83 (17)				87 (42)	12 (5)	1,064 (765)	1,296 (830)
工学部		72 (3)	58 (2)		34 (2)		3 (0)		23 (12)			190 (19)
応用生物科学部		44 (2)	36 (10)		15 (5)		3 (0)		22 (7)	35 (25)		155 (49)
社会システム経営学環		6 (1)	5 (1)		1 (1)		2 (0)					14 (3)
連合農学研究科		1 (0)										1 (0)
連合獣医学研究科		1 (0)										1 (0)
連合創薬医療情報研究科				3 (1)			1 (0)					4 (1)
教育推進・学生支援機構				4 (1)			7 (1)					11 (2)
学術研究・産学官連携推進本部							4 (1)		3 (2)			7 (3)
高等研究院		6 (0)	11 (4)		2 (1)		19 (3)			27 (2)		65 (10)
糖鎖生命コア研究所		7 (1)	3 (0)		4 (1)		3 (0)					17 (2)
グローカル推進機構		3 (2)			2 (1)							5 (3)
保健管理センター		2 (1)	1 (0)		1 (1)		2 (2)				4 (4)	10 (8)
地域協学センター		1 (0)	2 (1)		3 (1)							6 (2)
情報連携推進本部		1 (0)										1 (0)
男女共同参画推進室					1 (1)							1 (1)
合計		7 (2)	243 (23)	221 (43)	35 (2)	212 (58)	1 (1)	96 (22)	56 (16)	355 (161)	96 (38)	1,068 (769)
												2,390 (1,135)

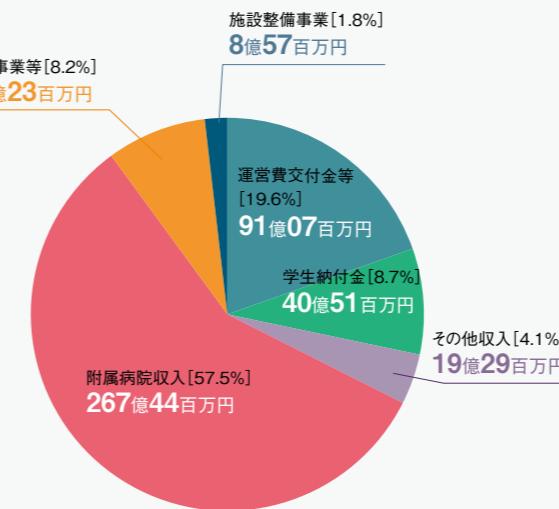
※()内は女性の人数を内数で示す。特任教員は常勤のみ。



予算

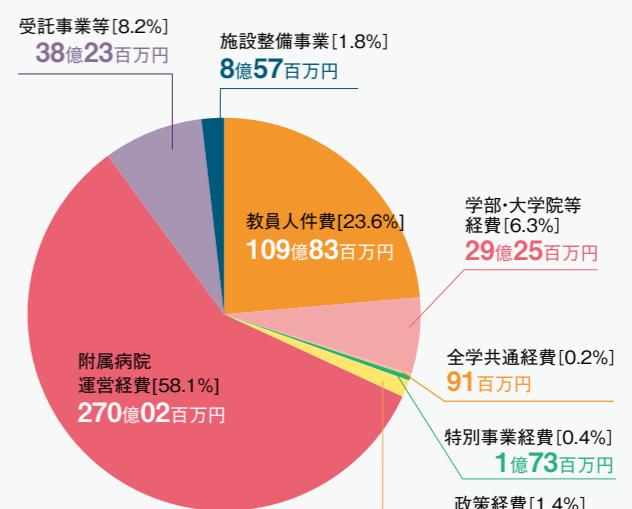
2024年度 予算事項別の構成

【収入】



総額 465億11百万円

【支出】



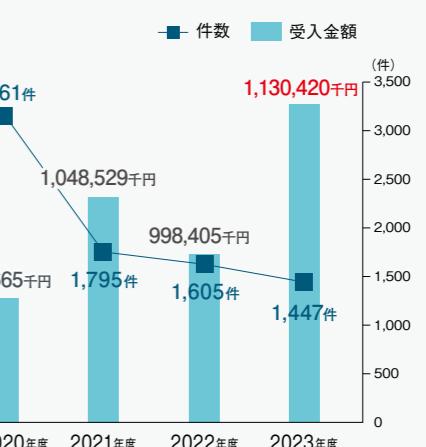
総額 465億11百万円

寄附金

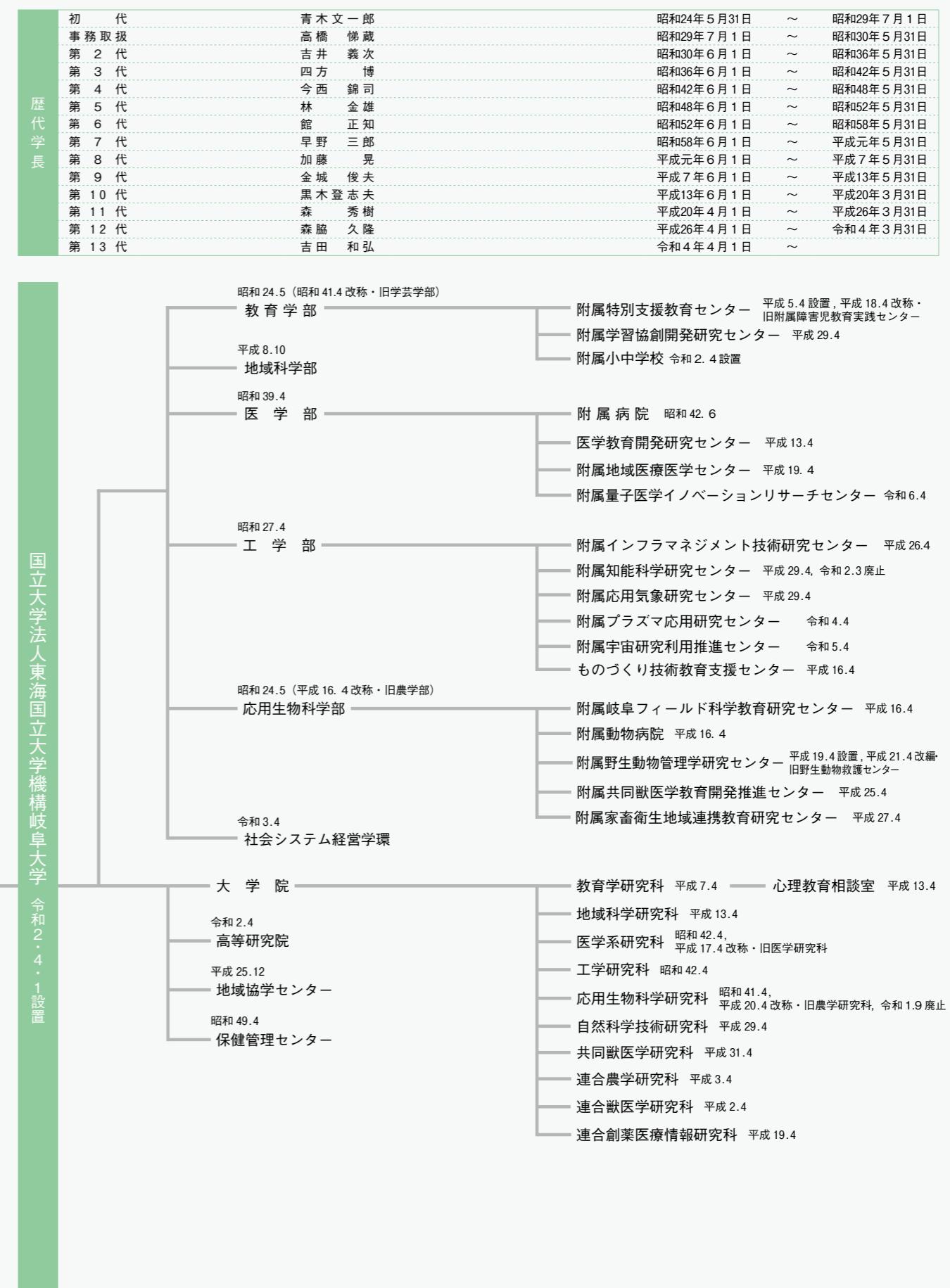
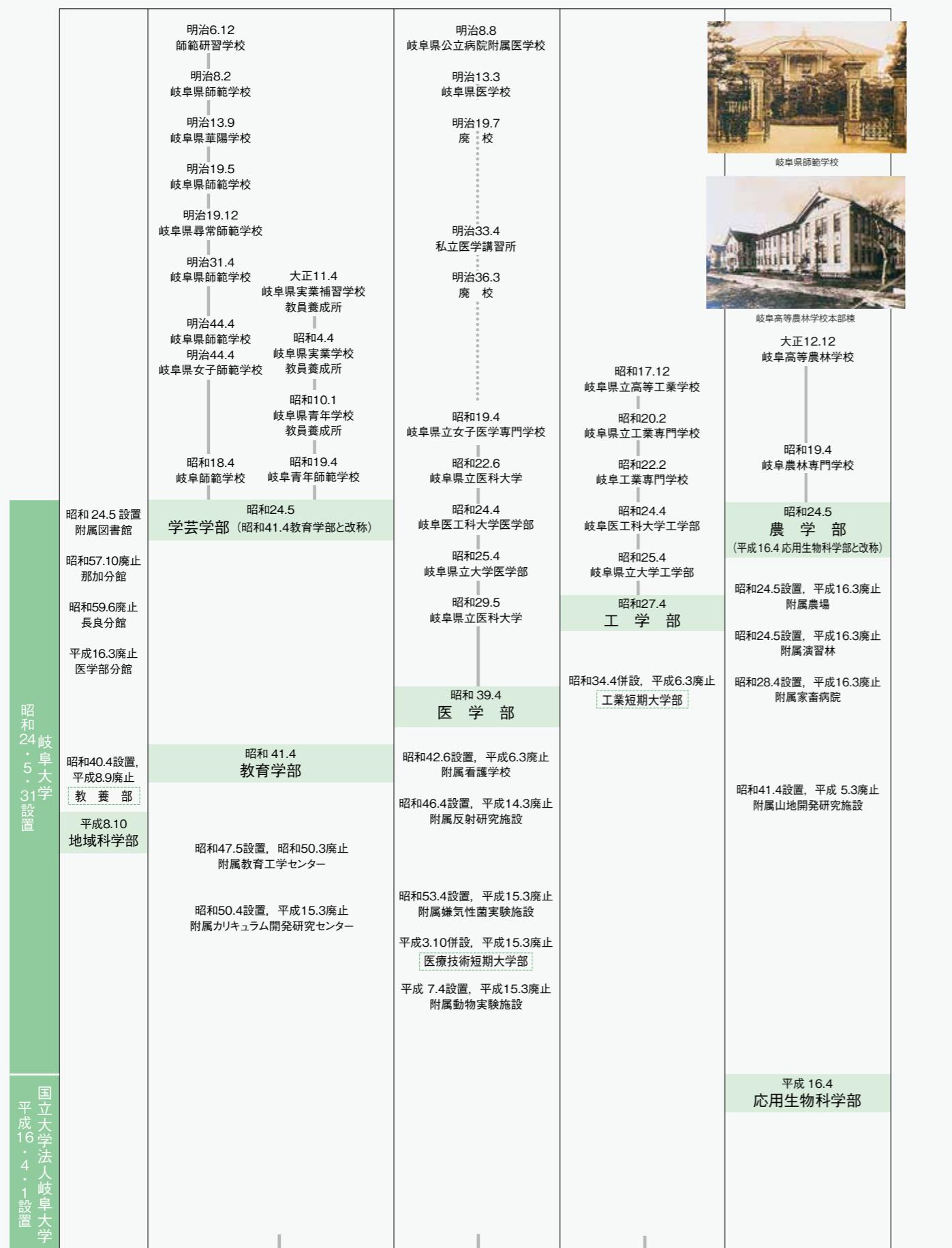
2023年度 受入実績

区分	件数	金額
岐阜大学基金	686	68,903
本部	0	0
教育学部	18	19,218
教育学部附属小中学校	4	24,250
地域科学部	19	4,841
医学部	271	567,574
医学部附属病院	107	119,652
工学部	145	127,942
応用生物科学部	145	71,353
社会システム経営学環	4	3,000
連合創薬医療情報研究科	4	11,500
高等研究院	20	51,205
糖鎖生命コア研究所	4	52,723
地域協学センター	1	140
流域圏科学研究センター	8	5,500
図書館	6	416
教育機構・学生支援機構	2	800
情報連携統括本部	1	300
航空宇宙生産技術開発センター	2	1,100
合計	1,447	1,130,420

千円未満は切り捨てとし、医学部には寄附講座分 356,500 千円を含む。
連合創薬医療情報研究科には寄附講座分 6,700 千円を含む。
※金額は、単位未満切り捨てのため合計は必ずしも一致しません。



2020 年度の寄付件数の増加は、新型コロナウイルス感染症緊急学生支援事業にかかる特定基金を募ったことに起因する。

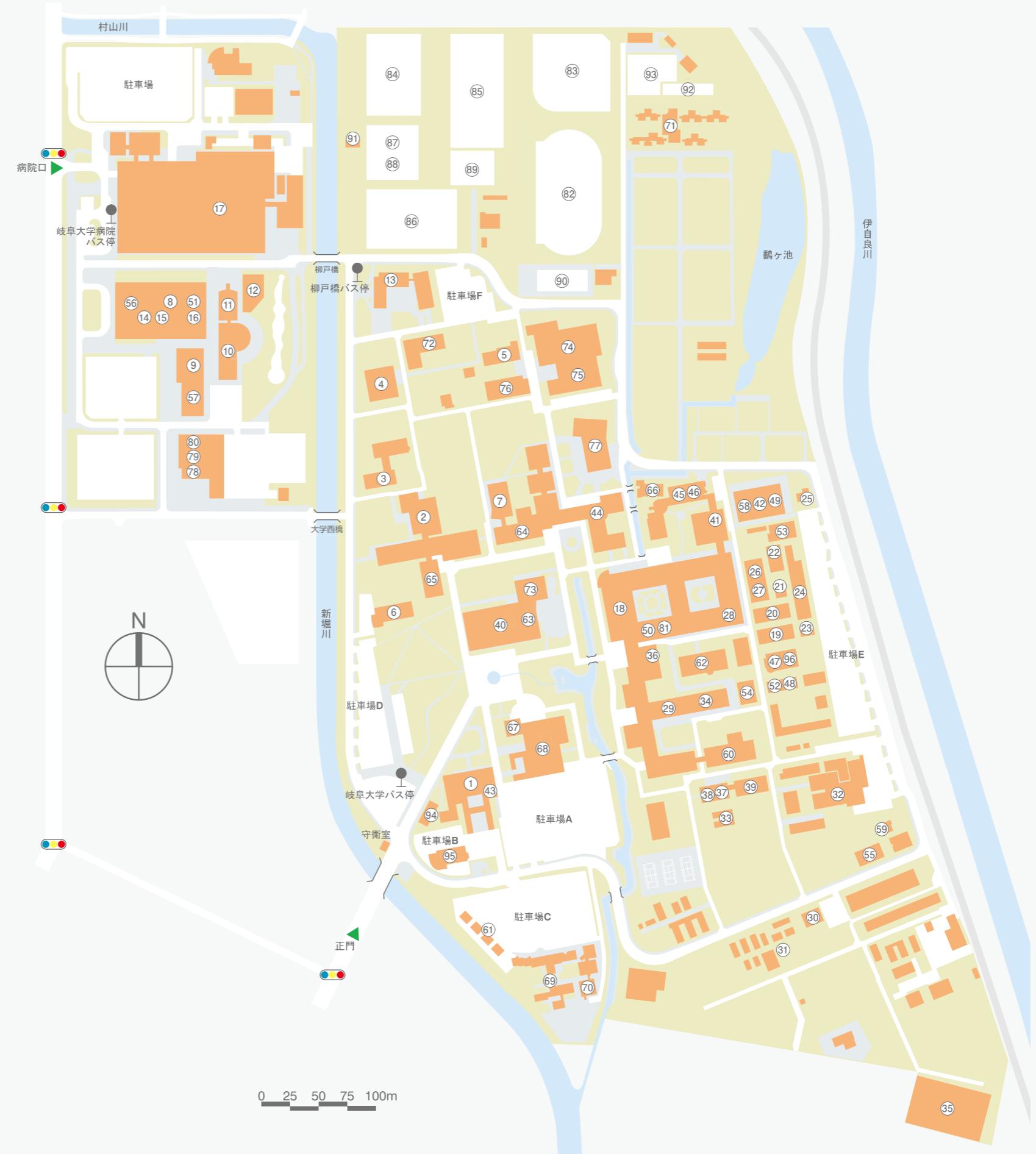


■ 建物配置図

1 大学本部
2 教育学部
3 美術・技術棟
4 音楽棟
5 保健体育棟
6 附属特別支援教育センター
7 地域科学部
8 医学系研究科・医学部
9 医学部生命科学棟
10 医学部教育・福利棟
11 医学部記念会館
12 医学図書館
13 医学部看護学科
14 医学教育開発研究センター
15 附属地域医療医学センター
16 附属量子医学イノベーションリサーチセンター
17 医学部附属病院
18 工学部
19 機械系第1実験棟
20 機械系第2実験棟
21 機械系第3実験棟
22 化学実験・実習施設棟
23 防災工学実験棟
24 土木系実験棟
25 高電圧実験棟
26 機械工場
27 ものづくり技術教育支援センター
28 附属インフラマネジメント技術研究センター
29 応用生物科学部
30 農場管理棟
31 附属岐阜フィールド科学教育研究センター
32 附属動物病院
33 附属野生動物管理学研究センター
34 附属共同獣医学教育開発推進センター
35 附属家畜衛生地域連携教育研究センター
36 社会システム経営学環
37 大学院連合農学研究科
38 大学院連合獣医学研究科
39 糖鎖生命コア研究所
40 図書館
41 総合研究棟I
42 総合研究棟II
43 教育推進・学生支援機構
44 全学共通教育講義棟
45 学術研究・産学官連携推進本部
46 高等研究院
47 地方創生エネルギーシステム研究センター
48 地域連携スマート金型技術研究センター
49 Gu コンボジット研究センター
50 地域減災研究センター
51 微生物遺伝資源保存センター
52 スマート金型開発拠点棟
53 航空宇宙生産技術開発センター
54 環境社会共生体研究センター
55 科学研究基盤センター（ゲノム研究分野）
56 科学研究基盤センター（嫌気性菌研究分野）
57 科学研究基盤センター（動物実験分野）
58 科学研究基盤センター（機器分析分野）
59 科学研究基盤センター（RI 実験分野）
60 岐阜県食品科学研究所（3階岐阜大学産学連携活動エリア）
61 インフラミュージアム
62 情報連携推進本部（情報館）
63 グローバル推進機構
64 日本語・日本文化教育センター
65 教育学部附属学習協創開発研究センター
66 地域協学センター
67 保健管理センター
68 大学会館
69 國際交流会館
70 柳戸会館
71 黒野寮
72 保育園ほほえみ
73 講堂
74 体育館
75 武道館
76 第二体育館
77 第二食堂
78 岐阜薬科大学校舎
79 岐阜健康長寿・創薬推進機構（7階）
80 大学院連合創薬医療情報研究科（8階）
81 清流の国ぎふ防災・減災センター
82 陸上競技場
83 野球場
84 サッカー場
85 ラグビー場
86 テニスコート
87 バスケットボールコート
88 バレーボールコート
89 ハンドボールコート
90 プール
91 弓道場
92 アーチェリー場
93 馬場
94 コンビニエンスストア
95 OKB 岐阜大学プラザ
96 研究ラボ（研究推進部）



2024年5月1日現在



■ 土地・建物

地区	区分	土地 (m ²)	建物 (m ²)
柳戸地区	本部棟	520,827	4,000
	教育学部		18,686
	地域科学部		3,680
	地域科学部・共通教育講義棟		13,433
	医学部(看護学科)		7,197
	工学部		48,832
	応用生物科学部		27,529
	連農・連獣研究科校舎		2,301
	動物病院		3,681
	糖鎖生命コア研究所		4,296
	図書館(講堂含む)		8,853
	学術研究・産学官連携推進本部		11,062
	高等研究院環境社会共生体研究センター		1,112
	情報館		2,311
	地域協学センター		336
	国際交流会館		4,285
	大学会館、第二食堂、柳戸会館		6,465
	体育・課外活動施設		6,416
	黒野寮		5,045
	保育園		618
	排水処理施設、中央機械室、中継ポンプ室、特高受変電室外		1,847
	総合研究棟II		5,880
	岐阜県中央家畜保健衛生所		(819)
	岐阜県食品科学研究所		(826)
	医学部・同附属病院	124,336	119,296
	大学院連合創薬医療情報研究科・岐阜健康長寿・創薬推進機構(※岐阜薬科大学校舎8階、7階一部)		(1,305)
	医学部地区駐車場		(11,421)
	柳戸地区合計		(11,421) (2,950) 307,161
加納地区	教育学部附属小中学校	30,599	13,531
豊飯地区	旧早野邸セミナーハウス	5,539	228
美濃加茂地区	応用生物科学部附属岐阜フィールド科学教育研究センター美濃加茂農場	(18) 95,831	1,690
中津川地区	研修センター	(23,752)	2,229
萩原町地区	応用生物科学部附属岐阜フィールド科学教育研究センター位山演習林	(2,460) 6,424,445	1,103
高山地区	高等研究院環境社会共生体研究センター高山試験地	(207,697)	778
その他	職員宿舎	18,230	8,813
合計	()内の数は借地等で、外数である。	(245,348) 7,219,807	(2,950) 335,533

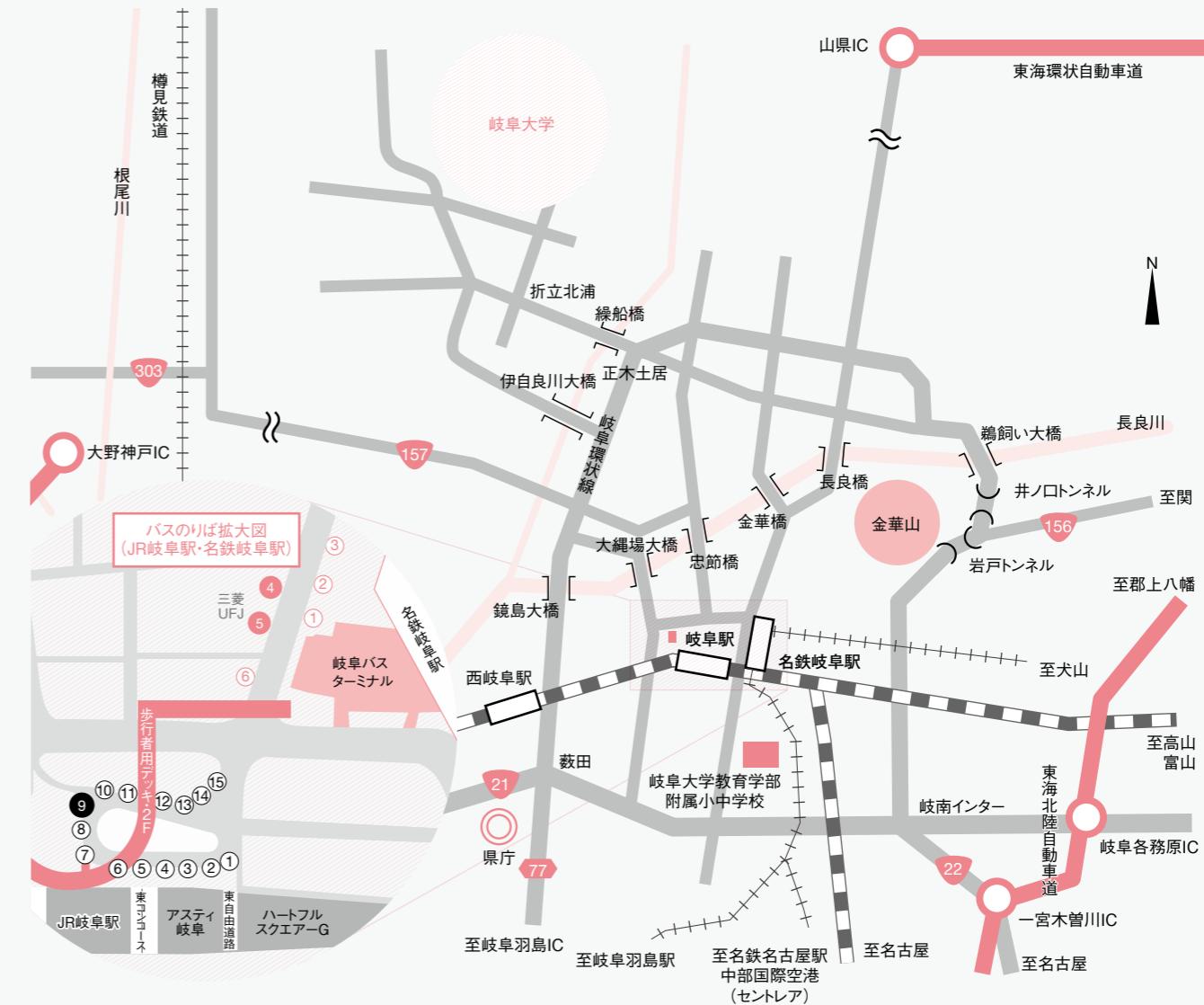


■ 所在地・交通案内

キャンパス

柳戸地区	〒501-1193 岐阜市柳戸1番1	☎ 058-230-1111 (代表)
部局・施設等	電話番号	
大学本部	230-1111 (代表)	
教育学部 / 教育学研究科	293-2203	
・附属特別支援教育センター	293-2350	
・附属学習協創開発研究センター	293-2345	
地域科学部 / 地域科学研究科	293-3002	
工学部 / 工学研究科	293-2365	
・附属インフラマネジメント技術研究センター	293-2419	
・附属応用気象研究センター	293-2365	
・附属プラズマ応用研究センター	293-2365	
・附属宇宙研究利用推進センター	293-2374	
・ものづくり技術教育支援センター	293-2834	
応用生物科学部	293-2972	
・附属岐阜フィールド科学教育研究センター	293-2962	
・附属動物病院	293-2959	
・附属野生動物管理学研究センター	293-3408	
・附属共同獣医学教育開発推進センター	293-2834	
・附属家畜衛生地域連携教育研究センター	293-3440	
社会システム経営学環	293-3084	
自然科学技術研究科	293-2987	
共同獣医学研究科	293-2984	
連合農学研究科	293-3753	
糖鎖生命コア研究所	293-2184	
・糖鎖分子科学研究センター	293-3880	
図書館	293-3351	
地域協学センター	293-2174	
グローカル推進機構	293-2133	
・日本語・日本文化教育センター	293-3339	
保健管理センター	293-3352	
教育推進・学生支援機構	293-3890	
学術研究・産学官連携推進本部	230-6146	
高等研究院	293-3184	
・地域減災研究センター	293-2496	
・微生物遺伝資源保存センター	293-2685	
・Gu コンポジット研究センター	293-2061	
・地域連携スマート金型技術研究センター	230-6053	
・地方創生エネルギーシステム研究センター	230-6000 (代表)	
・環境社会共生体研究センター	230-6470	
医学部 / 医学系研究科	230-6539	
医学部附属病院	230-6437	
・医学教育開発研究センター（医学教育共同利用拠点）	293-3770	
・附属地域医療医学センター	293-7602	
OKB 岐阜大学プラザ		
連合創薬医療情報研究科		

(058)



バスのりば案内

JR岐阜駅北口・バスターミナルのりば

のりば	路線名	系統	行先	所要時間
JR岐阜-9	岐阜大学・病院線	C70	岐阜大学病院	約30分
JR岐阜-9	岐阜大学・病院線	C71	岐阜大学病院	清流ライナー 約25分
JR岐阜-9	岐阜大学・病院線	C72	岐阜大学病院	直行 約25分
JR岐阜-9	岐阜大学・病院線	C72	岐阜大学	直行 約30分
JR岐阜-9	岐南町線(長良橋経由)	N45	岐阜大学病院	約35分

名鉄岐阜のりば	路線名	系統	行先	所要時間
名鉄岐阜-5	岐阜大学・病院線	C70	岐阜大学病院	約30分
バスターミナル-E	岐阜大学・病院線	C72	岐阜大学病院	直行 約25分
バスターミナル-E	岐阜大学・病院線	C72	岐阜大学	直行 約30分
名鉄岐阜-4	岐南町線(長良橋経由)	N45	岐阜大学病院	約35分

・バスはすべて「岐阜大学」に停車。バス系統Cは、忠節橋経由
・直行便は、学休日、土・日曜日運休
・清流ライナーは、岐阜大学まで3つの停留所のみ停車する130名乗車可能の連節バス

岐阜大学へのアクセス

自家用車

【名神高速】

- ・一宮 IC から国道 22 号を北進し、岐阜市街経由で、約 50 分(約25km)

【東海北陸自動車道】

- ・岐阜各務原 IC から国道 21 号を西進し、岐阜環状線経由で、約 40 分(約20km)

【東海環状自動車道】

- ・山県 IC から約 20 分(約10km)
- ・大野神戸 IC から約 30 分(約15km)

バス・タクシー

【JR岐阜駅 / 名鉄岐阜駅から】

- ・岐阜大学まで約 7 km, バスで約 30 分、タクシーで約 20 分

鉄道

【JR名古屋駅 / 名鉄名古屋駅 / 近鉄名古屋駅から】

- ・JR岐阜駅まで、東海道本線(新快速)で約 18 分
- ・名鉄岐阜駅まで、名鉄名古屋本線(特急)で約 29 分

【岐阜羽島駅(新幹線)から】

- ・新羽島駅(岐阜羽島駅隣り)から名鉄岐阜駅まで、名鉄羽島線で約 30 分
- ・タクシー利用の場合は、岐阜大学まで約 40 分

【中部国際空港から】

- ・名鉄岐阜駅まで、名鉄(空港特急・ミュースカイ)で約 57 分



MAKE NEW STANDARDS.

東海國立
大學機構



岐阜大學

[編集] 国立大学法人東海国立大学機構総務部広報課 〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸1番1

TEL. 058-230-1111(代表) 058-293-2009 FAX. 058-293-2021

<https://www.gifu-u.ac.jp/>

